marantz®

Model DV4300　取扱説明書

DVD Player

CLASS 1 LASER PRODUCT
LUOKAN　1　LASERLAITE
KLASS 1 LASERAPPARAT









このたびは、マランツの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

目　次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

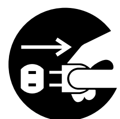
この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。


警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


⦸ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

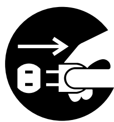

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。


● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意



警告



電源プラグをコンセントから抜け

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

● 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● この機器を設置する場合は、壁から10cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm 以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。またキャビネットの換気口をふさがないでください。内部に熱がこもり火災の原因となります。



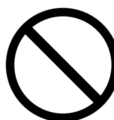
水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



接触禁止

● 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



● 表示された電源電圧（交流100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● この機器のディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や、小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

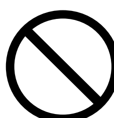
● この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

● 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。



● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

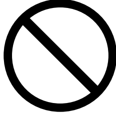


分解禁止

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。


注意



● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

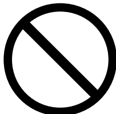
● ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

● レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

● この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

● この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



● 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子 ⊕ とマイナス端子 ⊖ の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

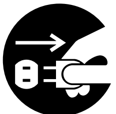
● この機器の上に5kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



● オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

● 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。


電源プラグをコンセントから抜け

● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。


指を挟まれないよう注意

● お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。



● 長期間使用しないとき、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

● 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

お使いになる前に

こんなことができます

◆ 映画館のような迫力のあるサウンドが味わえるドルビーデジタル／DTS 対応 (*1)





マルチチャンネルで収録された映画/音楽DVDソフトを臨場感豊かに再現します。

◆ 3Dサウンド機能を搭載

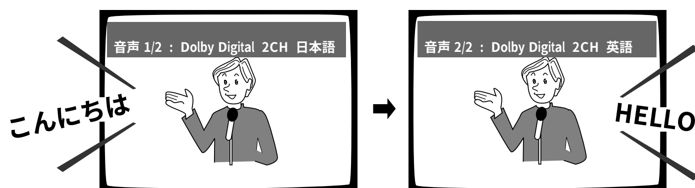
2つのスピーカーだけでも5.1チャンネル音声の臨場感ある音声をお楽しみいただけます。

◆ MP3 対応

MP3ファイル形式で圧縮された音楽データが記録されたCD-ROM、CD-R、またはCD-RWディスクを再生することができます（P.21）。

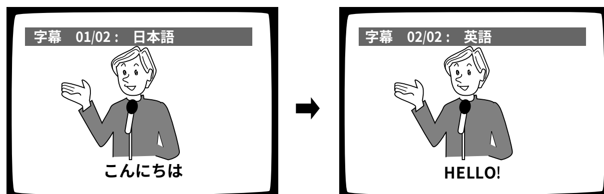
◆ お好みの音声言語が選択できます

DVDに収録された複数の音声言語から、お好きな言語を選択することができます（P.19, 36 ）。



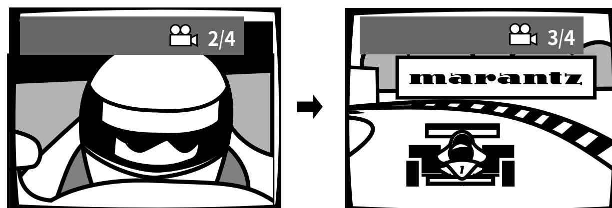
◆ お好みの字幕言語が選択できます

DVDに収録された複数の字幕言語から、お好きな字幕を選択することができます（P.19, 36 ）。



◆ お好みのアングルが選択できます

DVDに収録された複数のアングルから、お好きなアングルを選択することができます（P.25, 35 ）。



本機の特徴

◆ 本体高さ54mmのスタイリッシュなデザイン

◆ CDを上回る高音質を実現した192kHz/24ビットオーディオD/A コンバーターを搭載 (*2)

デジタル信号をアナログ信号に変換するオーディオD/Aコンバーター部には、高音質192kHz/24ビットDACを搭載。さらに、96kHzサンプリング信号の出力によって高音質なステレオサウンドが楽しめます。

◆ きめ細かな映像を実現するプログレッシブ出力

本機は525pの周波数の映像信号を出力するプログレッシブスキャン(順次走査)出力端子を装備しています。コンポーネント映像入力を持ったプログレッシブ(525p)入力対応テレビに接続すると、従来のテレビ方式であるインターレーススキャン(飛び越し走査)よりも2倍の情報量の、きめ細かな映像を再生します(P.16, 33)。

◆ DVD ならではの高画質映像を引き出すD1/D2端子、およびコンポーネント映像出力端子を装備

本機はD1/D2端子を装備しています。デジタル放送対応テレビなどに装備されているD 端子に専用ケーブル1本で接続することができます。さらにコンポーネント映像出力端子も装備しています。DVDに記録される輝度（Y）と色差（CB/PB、CR/PR）の3つの映像信号をそれぞれダイレクトに出力することで、ＤＶＤ から鮮明な映像を引き出します(P.16）。

◆ 省エネルギー設計

本製品は電源ONのまま30分以上使用しないと、自動的にSTAND BY 状態になるAUTO POWER OFF 機能を備えております。

*1 ドルビーデジタル *3 や DTS *4 を楽しむには別途各フォーマットに対応したAVアンプまたはデコーダー、およびデジタル接続ケーブル（光または同軸）などが必要です。

*2 96kHzサンプリングの出力音声を楽しむには別途対応AVアンプまたはD／Aコンバーター、およびデジタル接続ケーブル（光または同軸）などが必要です。

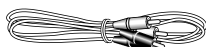
*3 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権1992-1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

*4 DTSは米国Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。米国Digital Theater Systems, Inc. からの実施権に基づき製造されています。

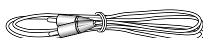
付属品の確認

箱から出したら次の付属品がそろっていることを確認してください。

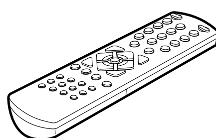
● 音声／映像ケーブル



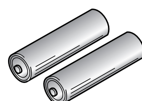
● リモート接続ケーブル



● リモートコントロールユニット



● 単4形乾電池（R03・2本）



● 保証書
● 取扱説明書（本書）

本機で再生できるディスクについて

本機で再生できるディスクの種類

以下のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

DVD VIDEO　DVD-R (*1)

DVD VIDEO

VIDEO CD　SUPER VIDEO CD (*3)

COMPACT disc DIGITAL VIDEO　COMPACT disc SUPER VIDEO

CD　CD-R (*2)　CD-RW (*2)

COMPACT disc DIGITAL AUDIO　COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable　COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

■ NTSC/PAL変換

本機は、NTSC（日本のテレビ方式）変換機能を搭載しており、PAL（ヨーロッパなどのテレビ方式）のディスクのビデオ信号をNTSC信号出力に変換することができます。

ディスク		プレーヤー設定	
種類	映像方式	TVシステム	
		NTSC	マルチ
DVD	NTSC	NTSC	NTSC
	PAL	NTSC	PAL
VCD	NTSC	NTSC	NTSC
SVCD	PAL	NTSC	PAL

● マルチ は、NSTC とPAL 両方に対応したテレビの場合のみ選択してください。

● 変換の際に画質がわずかに劣化することがあります。これは正常な動作ですので、最高の画質を得るためには、マルチ が最も適しています。(P.32)。

■ 本機で再生できないディスクの種類

● リージョンが「2」「ALL」以外のDVDビデオ
● DVDオーディオ
● SACD
● DVD-RW
● DVD-ROM ・DVD-RAM・フォトCD など

ご注意

本機はアダプター(CD用)を使用しないで8cmCDを再生することができます。8cmアダプター(CD用)は使用しないでください。

ご注意

最近、発売されておりますコピーコントロールＣＤ（コピーガード付ＣＤ）は、現在のCD規格に準拠していない特殊なディスクであり、当社としましては、本機による再生の状態を保証致しかねます。

通常CDを用いての再生時には支障なく再生が出来、これらの特殊ディスク再生時においてのみ支障をきたす場合につきましては本機の不具合ではございません。

なお、コピーコントロールCDに関する詳細につきましてはコピーコントロールCDの発売元にお問い合わせ戴きますようお願いいたします。

*1　DVD-R ディスクの再生について
本機はDVD ビデオフォーマットで記録されたDVD-Rディスクを再生することができます。

*2　CD-R/CD-RW ディスクの再生について
本機は音楽CD フォーマット、ビデオCDフォーマット、またはMP3の音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。
※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

*3　SVCD ディスクの再生について
本機はIECフォーマットで記録されたSVCD ディスクを再生することができます。

お使いになる前に

■ MP3 の再生について

- SO9660CD-ROM ファイルシステムに従って記録してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー3 のサンプリング周波数32kHz、44.1kHzまたは48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- 本機はマルチセッションに対応しております。
- フォルダーは126まで、 総トラック数は255 まで対応しています。これ以降のフォルダー/ トラックを再生した場合、表示等正しく操作できないことがあります。
- 記録ビットレートは56kbpsから259kbpsまで対応します。音質的には、記録ビットレート128kbps を推奨します。

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R、およびCD-R/CD-RW ディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。
- 本機ではファイナライズしていないDVD-R、CD-Rディスクを再生することはできません。
- 詳しいDVD-R、およびCD-R/CD-RWディスクの取扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	内容
②))	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16:9 LB	記録されている映像のアスペクト比
2 / ALL	再生可能な地域番号を表示します。 本機は地域番号「2」または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

DVDの操作制限について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。また、メニューや再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、リピートやプログラムなどの一部の操作ができないことがあります。
このような場合、本機では画面に「プレーヤーによる禁止」マーク（⃠）を表示します。

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本機には、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

本書の中で使われる記号について

見出しや本文の中で使われている記号とその意味は、以下の通りです。

DVD　DVDビデオの再生に関する説明

VCD　ビデオCDの再生に関する説明

CD　オーディオCDの再生に関する説明

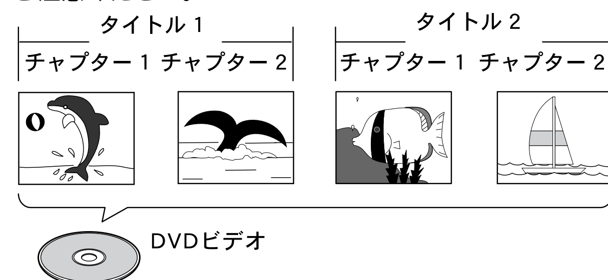
SVCD　スーパービデオCDの再生に関する説明

MP3　MP3の再生に関する説明

ディスクの構成について

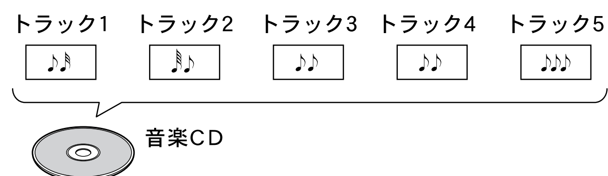
■ DVD VIDEO

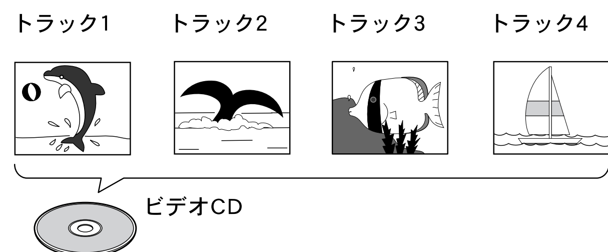
DVDビデオではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。また、ディスクによってはメニュー画面を持つものがあります。メニュー画面はどのタイトルにも属しません。映画などではふつう1つの映画が1つのタイトルに対応しています。カラオケディスクでは1曲が1タイトルとなっています。ただしこのような区切りになっていないディスクもありますので、サーチ機能やプログラム機能を使用する際はご注意ください。



■ CD、VCD、SVCD

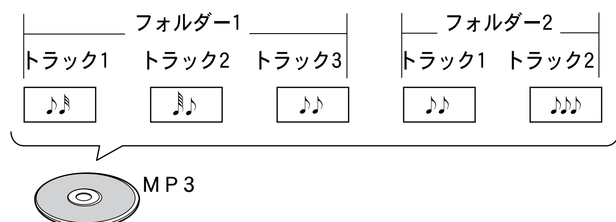
音楽CD、ビデオCD、スーパービデオCDではディスクをトラックという単位で分けています（一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。またさらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります）。





■ MP3

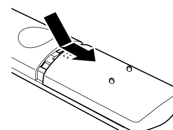
MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP 3ファイルと呼びます。ＭＰ3 ファイルが入っているフォルダーには「ROOT」、フォルダー内のファイルには「TR0001、TR0002・・・」というように自動的に番号をつけます。



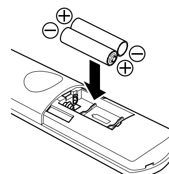
リモコンについて

リモコンに乾電池を入れる

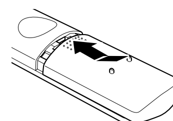
1. 裏ブタを押しながら矢印の方向へ開く



2. ケース内に表記されている極性＋(プラス)/－(マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れる



3. フタを矢印の方向に閉める

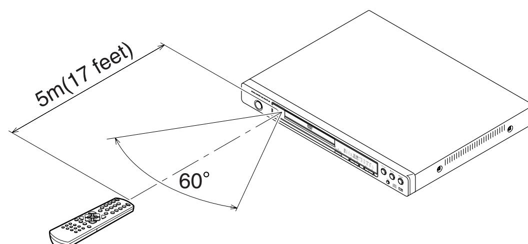


ご注意

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1ヵ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

リモコンの使用範囲

- リモコンはプレーヤー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は約5m、またリモコン受光部を基準にして左右30゜までの範囲で操作できます。
- 後面のコントロール入力端子が他の機器に接続されているとき（P.17）は、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。本機に向けても操作することはできません。

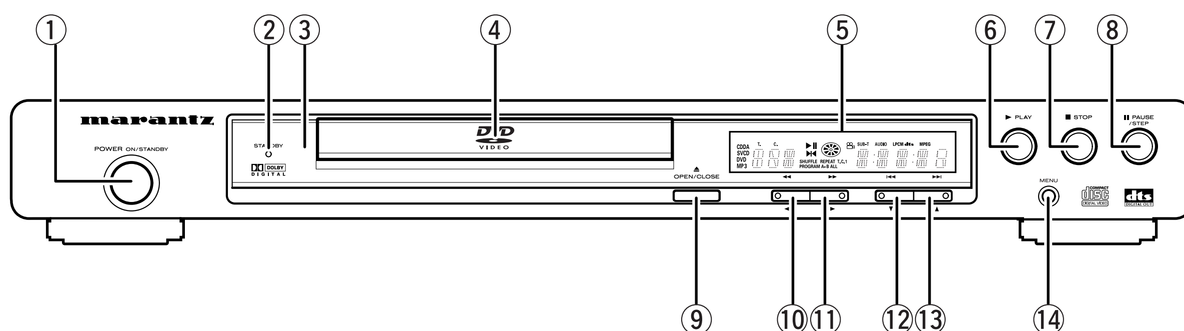


ご注意

- リモコン受光部に直接日光や強い光をあてないようにしてください。誤動作の原因となります。
- このDVD プレーヤーを単独で使用する場合は、本体後面のリモートスイッチを ”INTERNAL” に設定してください。

各部の名称とはたらき

本体正面



① 電源 (POWER ON / STANDBY) ボタン
電源をオン／スタンバイします（P.18, 19 ）。

② スタンバイ(STANDBY)インジケーター
スタンバイ状態のときに点灯します。

③ リモコン受光部
リモコンからの赤外線コントロール信号を受光します。

④ ディスクテーブル
ディスクを出し入れするときに ⑨ オープン / クローズ（ ⏏ ）ボタンで開閉します（P.18, 19 ）。

⑤ 表示窓
本機の動作状況を表示します（P.9）。

⑥ 再生 (► PLAY) ボタン
ディスクを再生します(P.18)。
また、TV画面上にメニューが表示されているときにボタンを押すと、設定項目が表示されます。

⑦ 停止 (■ STOP) ボタン
ディスクの再生を止めます（P.19)。
また、プレイバックコントロール（PBC）機能付ビデオCD、SVCDでメニュー画面等が表示されているときにボタンを押すと1つ前の項目に戻ります。

⑧ 一時停止(‖ PAUSE) / ステップ（STEP)ボタン
再生中に押すと映像が静止画になり音声が一時停止します（P.19, 22)。一時停止中に押すとコマ送りをします。

⑨ オープン / クローズ (⏏ OPEN / CLOSE) ボタン
ディスクトレイを開閉するときに押します（P.18, 19 ）。

⑩ スキャン早戻し・逆方向スロー再生 (◄◄ FR/SR)ボタン
映像や音声を早戻します（P.20）。DVDビデオの一時停止のときにボタンを押すと逆方向のスロー再生になります（P.22）。
設定項目を選択するときは、カーソルを左に動かします（P.41）。

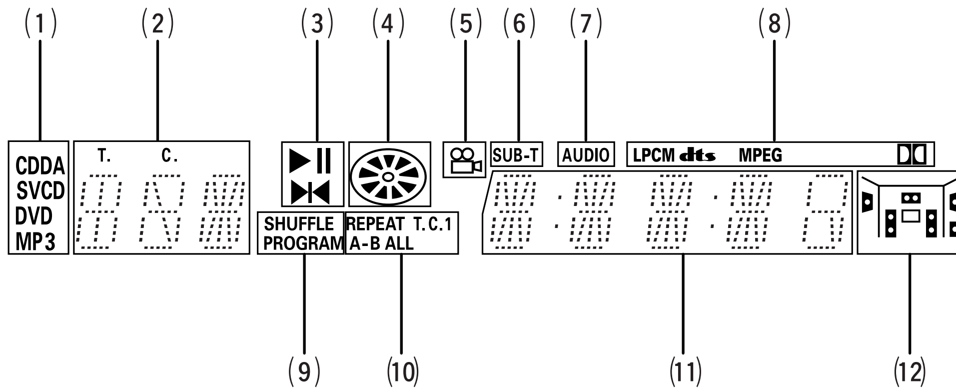
⑪ スキャン早送り・順方向スロー再生 (►► FF/SF)ボタン
映像や音声を早送りします（P.20）。DVDビデオやビデオCD、スーパービデオCDの一時停止のときにボタンを押すと順方向のスロー再生になります（P.22）。
設定項目を選択するときは、カーソルを右に動かします。

⑫ 前(|◄◄ PREIOUS)ボタン
前の場面（チャプター）や曲（トラック）の頭出しをします（P.20）。
設定項目を選択するときは、カーソルを下に動かします。

⑬ 次(►►| NEXT)ボタン
次の場面（チャプター）や曲（トラック）の頭出しをします（P.20）。
設定項目を選択するときは、カーソルを上に動かします（P.41）。

⑭ メニュー（MENU）ボタン
DVDのメニュー画面を表示します（P.18）。

本体表示窓



(1) CDDA(音楽CD)／VCD(ビデオCD)／SVCD(スーパービデオCD)／DVD／MP3
再生しているディスクの種類を点灯します。

(2) T.(タイトル)／C.(チャプター)
トラック番号が表示されているときはTが点灯されます。チャプター番号が表示されているときはCが点灯されます。

(3) PLAY／PAUSE／STEP
現在の操作モード(再生／一時停止／コマ送り)を表示します。

(4) 動作状態インジケーター
ディスクが回転しているとき、インジケーターが回転します。

(5) (アングル)
DVDビデオを再生しているとき、アングル変更が可能(マルチアングル)な場面で点灯します。

(6) SUB-T
字幕言語の変更が可能なDVDビデオ(マルチサブタイトル機能)の再生中に点灯します。

(7) AUDIO
音声言語の変更が可能なDVDビデオ(マルチランゲージ機能)を再生中に点灯します。

(8) LPCM, DTS, MPEG, DD
再生中の音声フォーマットを点灯します。

(9) SHUFFLE／PROGRAM
シャッフル再生中／プログラム再生中に点灯します。

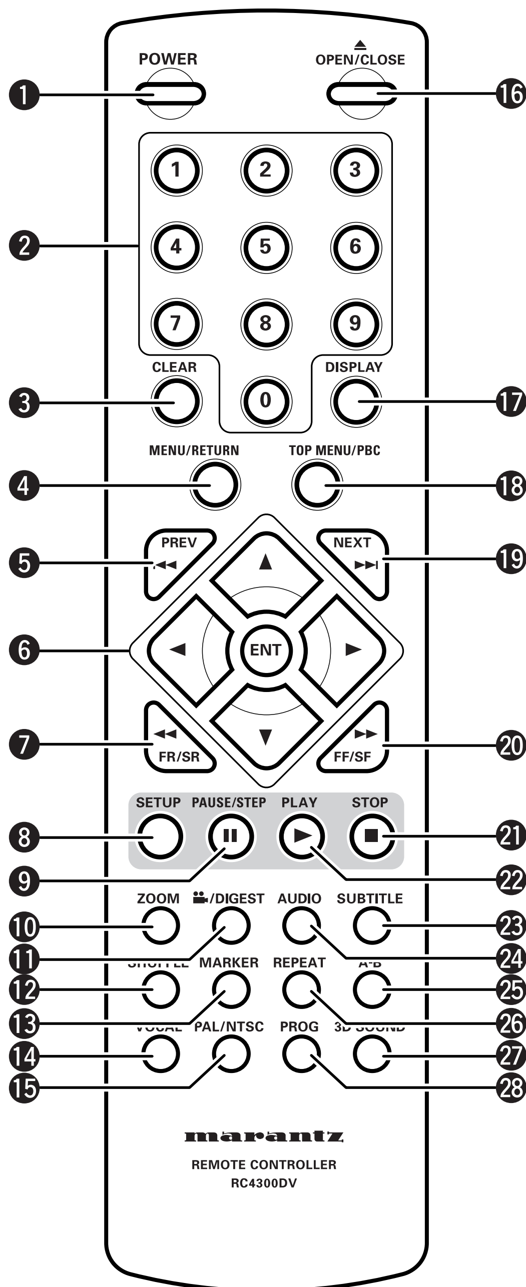
(10) REPEAT T, C, 1, A-B, ALL
リピート再生中に、リピート再生モードを T(タイトル)、C(チャプター)、1(1トラック)、A-B(2点間)、ディスク(全体)の中から点灯します。

(11) カウンター表示
再生中ディスクの時間情報を表示します。STOPやMENUなどの動作状況も表示します。

(12) 音声チャンネルインジケーター
再生しているDVDビデオに収録されているDolby Digitalの音声チャンネルに対応するインジケーターが点灯します。

各部の名称とはたらき

リモコン



＊ マーク付きのボタンはメニュー画面の操作に使います。

❶ 電源(POWER)ボタン

電源をON/スタンバイします(P.18, 19)。

❷ 数字ボタン *

見たい／聞きたい場所を探すとき、またはメニュー画面で項目を選ぶときなどに使います。

❸ クリア(CLEAR)ボタン

誤った番号入力を取り消したり、スロー再生から通常の再生に戻すときに使います。ズームやプログラムを取り消すときにも使います(P.22, 24, 27)。

❹ メニュー／リターン(MENU/RETURN)ボタン *

DVDビデオのメニュー画面を表示します(P.18)。

❺ 前(⏮ PRVEIOUS)ボタン

前の場面(チャプター)や曲(トラック)の頭出しをします(P.20)。

❻ カーソル (◀ ▶ ▲ ▼) ／ ENT(ENTER) ボタン *

設定項目を選択するときカーソルを上下左右に動かします。ENTERを押すと、選択した項目を決定します(P.18, 21, 27, 28, 29, 37)。

❼ スキャン早戻し／逆方向スロー再生 (◀◀ FR／SR)ボタン

映像や音声を早戻します(P. 20)。DVDビデオの一時停止のときにボタンを押すと逆方向のスロー再生になります(P. 22)。

❽ 初期設定(SETUP)ボタン *

初期設定画面を表示します(P. 29)。

❾ 一時停止／ステップ(❚❚ PAUSE／STEP) ボタン

再生中に押すと映像が静止画になり音声が一時停止します(P.19, 22)。一時停止中に押すとコマ送りをします。

❿ ズーム(ZOOM)ボタン

DVDビデオ、ビデオCD、スーパービデオCDの映像を拡大します(P. 27)。

⓫ アングル／ダイジェスト(DIGEST) ボタン

DVDビデオのアングルを切り替えます(P. 25)。
音楽CDや、PBC機能をオフに設定したビデオCDやスーパービデオCDの場合、再生を停止させてからボタンを押すと、イントロ再生やダイジェスト機能の選択メニューを表示します(P. 27)。

⑫ シャッフル(SHUFFLE)ボタン
ビデオCD、スーパービデオCD、音楽CDまたはMP3ではトラックを順不同に再生します(P.25)。

⑬ マーカー(MARKER)ボタン
再生中にもう一度見たい(聞きたい)箇所を記憶(最大5ヶ所)し、その箇所から簡単に再生を開始できます(P.27)。

⑭ ボーカル(VOCAL)ボタン
カラオケディスクなどを再生したとき、ボーカルやメロディの切替えを設定します(P.19)。

⑮ PAL/NTSCボタン
PAL(ヨーロッパなどのテレビ方式)のDVDビデオやビデオCD、スーパービデオCDの映像出力信号をNTSC(日本のテレビ方式)に変換します(P. 5, 17, 32)。

⑯ オープン/クローズ(⏏ OPEN/CLOSE)ボタン
ディスクトレイを開閉するときに押します(P.18, 19)。

⑰ 画面表示 (DISPLAY) ボタン
DVDビデオの再生中にボタンを押すと、タイトルやチャプターの経過時間/残り時間/転送レートを表示します。
ビデオCD、スーパービデオCD、音楽CDの再生中にボタンを押すと、ディスク全体やトラックの経過時間/残り時間を表示します(P.26)。

⑱ トップメニュー(TOP MENU)/PBC ボタン
DVDビデオの最上層のメニュー画面を表示します(P.18)。

⑲ 次(▶▶| NEXT)ボタン
次の場面(チャプター)や曲(トラック)の頭出しをします(P.20)。

⑳ スキャン早送り/順方向スロー再生 (▶▶ FF/SF)ボタン
映像や音声を早送りします(P. 20)。DVDビデオやビデオCD、スーパービデオCDの一時停止のときにボタンを押すと順方向のスロー再生になります(P.22)。

㉑ 停止(■ STOP)ボタン
ディスクの再生を止めます(P.19)。

㉒ 再生(▶ PLAY)ボタン
ディスクを再生します(P. 18)。

㉓ 字幕(SUBTITLE)ボタン
DVDビデオの字幕言語を切り換えます(P. 19)。

㉔ 音声(AUDIO)ボタン
音声を切り換えます(P. 19)。

㉕ 2点間 A-B リピート(A-B)ボタン
指定した部分を繰り返し(リピート)再生するときに、開始(A)点と終了(B)点を指定します(P. 23)。

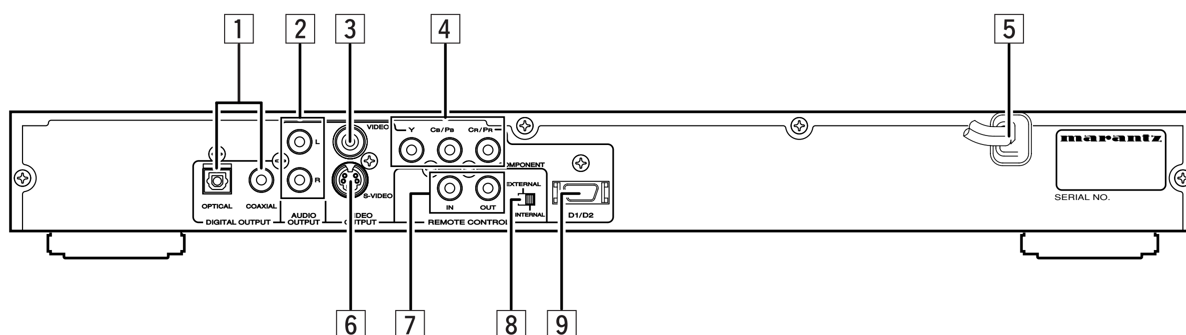
㉖ リピート(REPEAT)ボタン
DVDビデオではタイトルやチャプターを繰り返し再生します。音楽CD、ビデオCD、スーパービデオCDではトラックやディスク全体を繰り返し再生します。MP3ではフォルダー、トラックまたはディスク全体を繰り返し再生します(P. 23)。

㉗ 3D サウンド(3D SOUND)ボタン
テレビなど2つのスピーカーだけでサラウンド効果を実現します(P. 25)。

㉘ プログラム(PROG)ボタン
DVDビデオではタイトルやチャプター、ビデオCD、スーパービデオCDまたは音楽CDではトラック番号、MP3ではフォルダーやトラック番号をプログラムして好きな順に再生します(P. 24)。

●このリモコンはDVD1とDVD2という2つのリモコンコードを持っています。
●工場出荷時はDVD1に設定されています。
●リモコンコードをDVD2にセットするには、STOPボタンと数字の「2」を5秒以上同時に押してください。
●リモコンコードをDVD1にセットするには、STOPボタンと数字の「1」を5秒以上同時に押してください。
●リモコンの設定されているリモコンコードを確認するには、STOPボタンとPAUSE/STEPボタンを同時に押して本体の表示窓のリモコン受光部へ向けてください。表示窓に「DVD1」もしくは「DVD2」が表示されます(このとき本体の電源はオン、かつSTOP状態にしてください)。
●本体のリモコンコード設定を変更するには、
・STOP状態のとき、本体の表示窓のリモコン受光部に向けてリモコンのSETUPボタンを5秒以上押してください。 現在の設定(DVD1またはDVD2)が本体表示窓に表示されます。
・カーソル▲ボタンまたは▼ボタンを使ってリモコンコードの設定を選びます。
・ENTボタンを押して、設定を確定します。
・SETUPボタンを押して、リモコンコードの設定を終わります。
●このリモコンで本体を操作するには本体とリモコンのリモコンコードを合わせてください(本体のコードは工場出荷時DVD1にセットされています)。

本体後面



1 デジタル同軸／光出力（COAXIAL / OPTICAL）端子
デジタル入力端子のあるアンプなどと接続するときに、市販の同軸、または光デジタルケーブルを使って接続します（P.14, 15 ）。

2 音声出力(AUDIO)端子
2チャンネルのテレビまたはステレオアンプなどと接続するときに、付属の音声ケーブルを使って接続します（P.13, 15 ）。

3 映像出力（VIDEO）端子
テレビまたはAVアンプなどと接続するときに、付属の映像ケーブルを使って接続します（P.13, 17 ）。

4 コンポーネント映像（Y, C_B/P_B, C_R/P_R）出力端子
コンポーネント映像（Y、C_B/P_B、C_R/P_R）入力端子のあるテレビなどと接続するときに、市販のコンポーネント映像ケーブルまたは映像ケーブルを使って接続します（P.14, 16 ）。

5 電源コード
ご家庭のACコンセントに接続してください。交流100Vの50Hz地域と60Hz地域でご使用いただけます。

6 S映像出力（S-VIDEO）端子
S映像入力端子のあるテレビまたはAVアンプなどと接続するときに、市販のS映像ケーブルを使って接続します（P. 17）。

7 リモートコントロール入力/出力（REMOTE CONTROL IN/OUT）端子
本機をリモートコントロールケーブルで、弊社のオーディオ機器（RC-5対応）に接続すると、システムでのリモートコントロールができます（P. 17）。

ご注意
- 本機を単独で使用する場合は必ずINT側に設定してください。このスイッチがEXT側に設定されていると、赤外線リモコン送信機からの信号が受信できなくなります。
- RC-5リモート端子を持った機器と接続する場合は、必ず本機の"REMOTE CONTROL IN"端子と、RC5リモート端子を持った機器の"REMOTE CONTROL OUT"端子を接続してください。
- 赤外線リモートセンサーを持たない機器と接続する場合は、必ず本機の"REMOTE CONTROL OUT"端子に接続してください。なお、RC5の接続コードは、市販のRCAコードをご使用ください。

8 リモートコントロール 内部／外部（REMOTE CONTROL INT./EXT.）スイッチ
本機を付属の赤外線リモコン送信機を使用して単独で操作する場合はINT側に、弊社のRC5対応のリモートセンサーを搭載しているオーディオ機器とリモート接続し、システムとして使用する場合は、EXT側に設定してください（P. 17）。

9 D1/D2 端子
D映像入力端子のあるテレビと接続するときに、市販のD端子ケーブルを使って接続します（P. 16）。

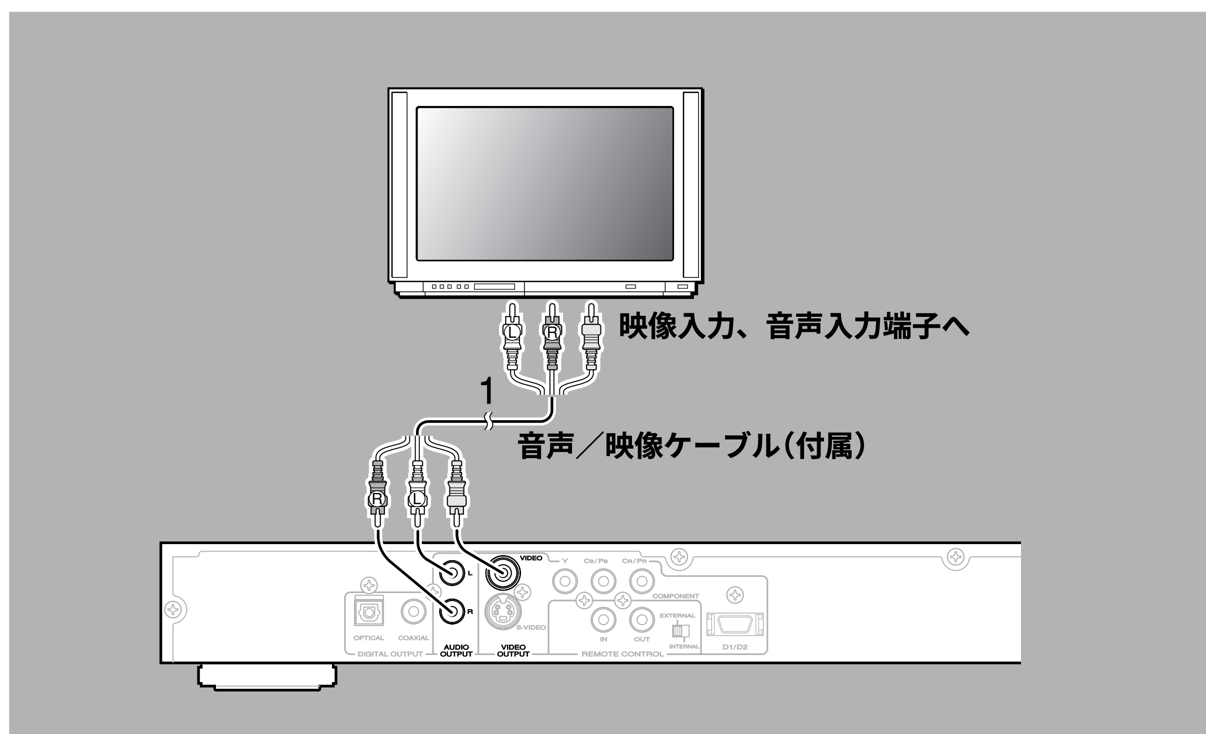
接続と準備

ご注意
機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

付属のケーブルを使ってテレビと接続する

1. 付属の音声／映像ケーブルを接続する

L(白色)端子には白色のプラグを、R(赤色)端子には赤色のプラグを、VIDEO(黄色)端子には黄色のプラグをつなぎます。
モノラル音声入力端子と接続するときは市販の専用ケーブルをお使いください。



ご注意

- **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
  本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。
- **本機の映像出力、およびS映像出力端子からはプログレッシブ出力されません。**

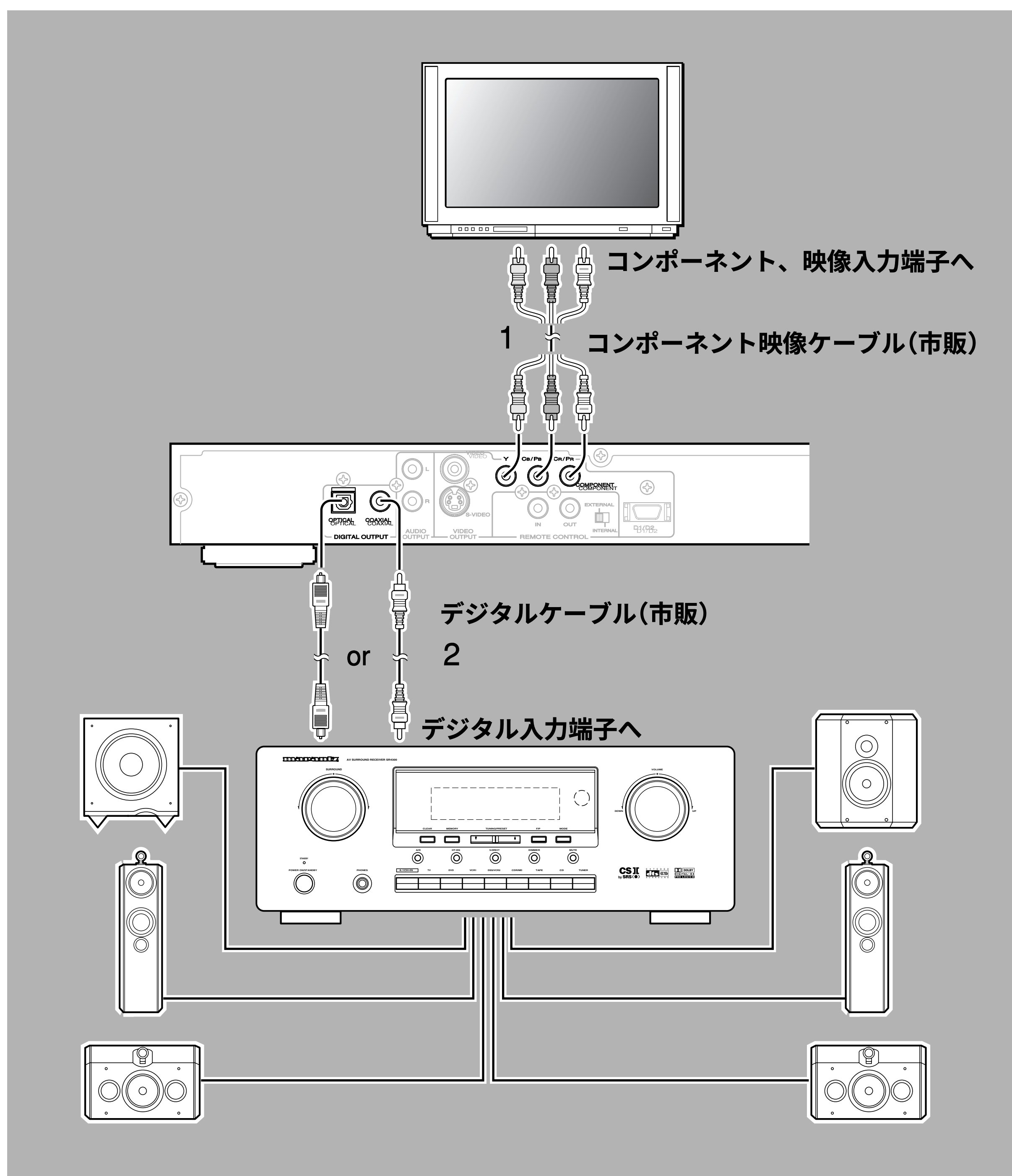
AV機器と接続する（接続例）

本機の性能を十分に楽しむための接続例です。
P. 15 ～ P. 17をご覧のうえ、お持ちのAV機器やケーブルに合わせて接続してください。

1. 映像ケーブルを接続する

2. 音声（同軸／光）デジタルケーブルを接続する

（P 15、市販の（同軸／光）デジタルケーブルで接続するを参照してください。）

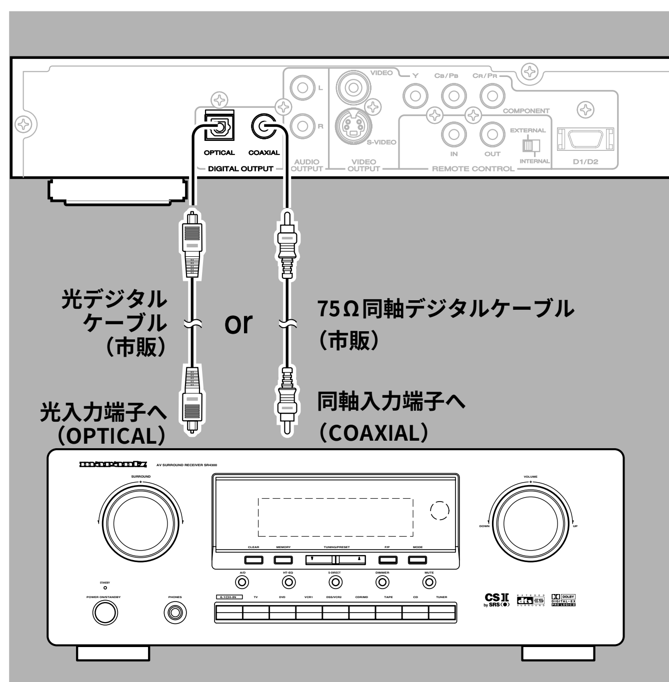


音声ケーブルの接続のしかたを選ぶ

以下の接続方法のどれか1つ接続すれば音声が出力されます。
当社のAVアンプをお使いのかたには、高音質なサラウンドをお楽しみいただくため、光デジタルケーブル、または同軸デジタルケーブルの接続をおすすめします。

市販の（同軸／光）デジタルケーブルで接続する

本機は、ドルビーデジタル、DTSなどのデジタル音声入力に対応したAVアンプ（各デコーダー内蔵アンプまたはデコーダー）とデジタル音声ケーブルでつなぐことにより、迫力あるデジタルサウンドをお楽しみいただけます。
デジタルケーブルには同軸デジタルケーブル（COAXIAL）と光デジタルケーブル（OPTICAL)があります



■デジタル出力でサラウンドを楽しむには

● ドルビーデジタルやDTSなどのサラウンド音声をお楽しみいただくためには、各サラウンドフォーマットに対応したデコーダー内蔵AVアンプなどのほか、チャンネル数分（５～７）のスピーカー＋サブウーファーが別途必要になります。

■デジタル出力の設定

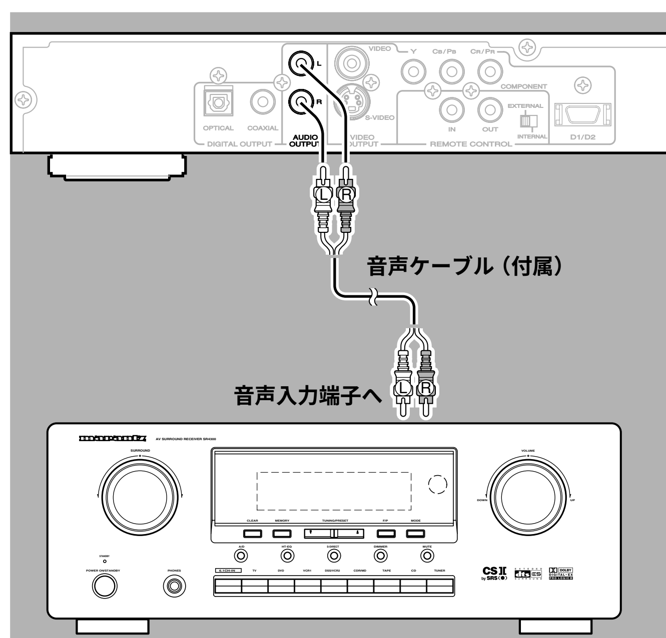
御使用されるAVアンプに合わせ、下記設定を行なってください。（P. 30）

プレーヤー設定 AUDIO デジタル出力	御使用されるDISC	デジタル出力
オフ	Dolby Digital	–
	DTS	–
	PCM	–
ビットストリーム	Dolby Digital	Dolby Digital
	DTS	DTS
	PCM	PCM
PCM	Dolby Digital	PCM
	DTS	DTS
	PCM	PCM

ご注意

● DTS Disc を再生する場合、DTS対応のAVアンプと同軸／光 デジタルケーブルを使用してください。

付属の音声ケーブルで（アナログ）接続する



ご注意

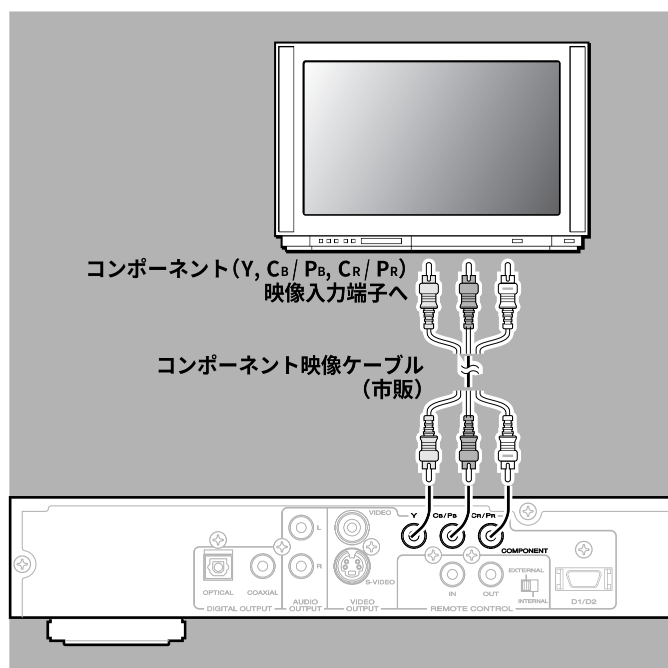
● 本機の音声出力端子とステレオアンプを接続する場合、アンプのフォノ（PHONO）入力端子に接続しないでください。

映像ケーブルの接続のしかたを選ぶ

以下の接続方法のどれか1つ接続すれば映像が出力されます。
本機では、コンポーネント映像出力端子、またはD1/D2映像出力端子に接続したときのみプログレッシブ信号が出力されます。

市販のコンポーネント映像ケーブルで接続する

お使いのテレビなどにコンポーネント（Y、CB/PB、CR/PR）映像入力端子があるときは、この接続をおすすめします。本機の高品位な映像品質を楽しむときにもっとも適した接続です。

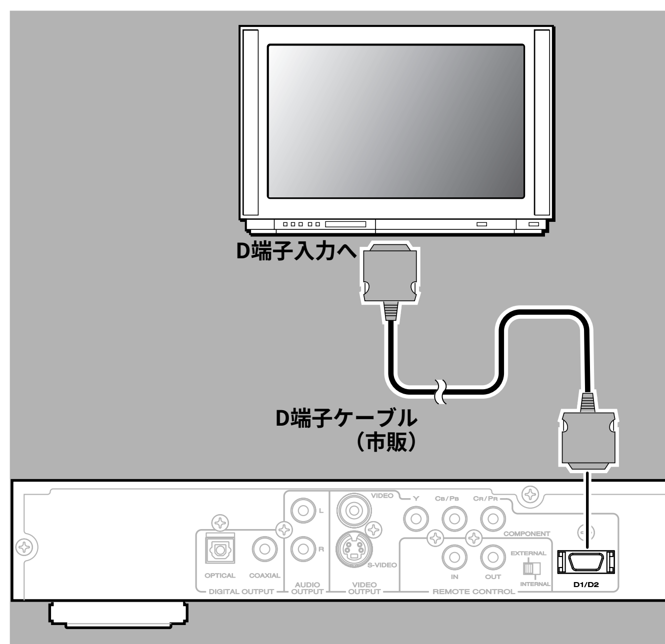


ご注意

- ハイビジョン対応のコンポーネント（Y、PB、PR）映像入力端子に接続することはできません。
- 本機の映像出力は、ビデオデッキに接続しないでください。本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。

市販のD端子ケーブルで接続する

専用ケーブル1本で、コンポーネント映像ケーブルを使った接続と同等の映像品質を楽しむことができます。



■ テレビのD 端子入力について

本機のD1/D2 端子は、接続するテレビのD1、D2、D3、またはD4のいずれの入力端子にも接続することができます。

D端子	方式
D4	525i(480i)、525p(480p) 1125i(1080i)、750p(720p)
D3	525i(480i)、525p(480p) 1125i(1080i)
D2	525i(480i)、525p(480p)
D1	525i(480i)

i ： インターレース(飛び越し走査)を表しています。
p ： プログレッシブ(順次走査)を表しています。
( )内は有効走査線数で数えた場合の別称です。

お知らせ

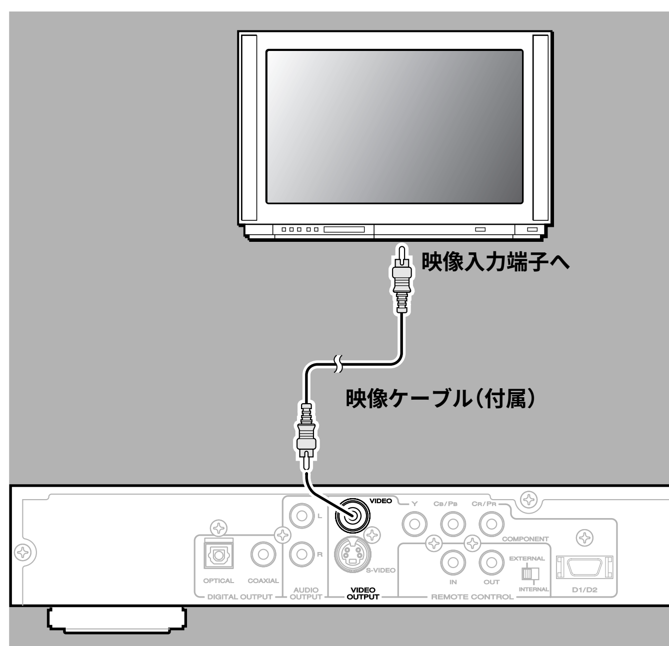
プログレッシブ対応でないTVに接続している時、DVDの設定をプログレッシブにすると、正常な映像が出力されません。
この時、リモコンの停止（■STOP）ボタンを5秒以上押してください。設定がインターレースになります。

TVモードの設定

- ご使用されるTVにあわせて下記設定をお選びください。（P. 33）

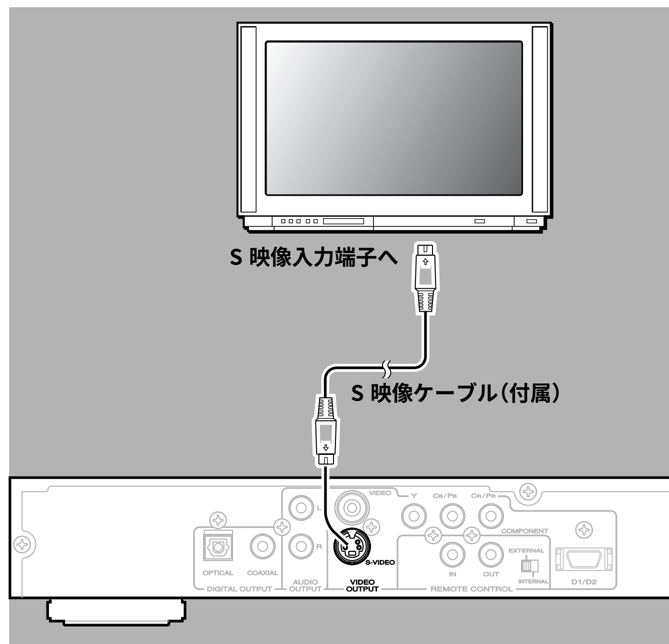
プレーヤーの設定 / VIDEO		ビデオ出力			
コンポーネント出力	映像出力	映像出力端子	S-映像出力端子	コンポーネント映像出力端子	D1/D2 端子
インターレース	コンポーネント	ビデオ信号	–	ビデオ信号	ビデオ信号
プログレッシブ	コンポーネント	–	–	プログレッシブビデオ信号	プログレッシブビデオ信号
インターレース	S-VIDEO	ビデオ信号	S-ビデオ信号	–	–

付属の映像ケーブルで接続する



市販のS映像ケーブルで接続する

付属の映像ケーブルを使った接続より、高品位な映像がお楽しみいただけます。

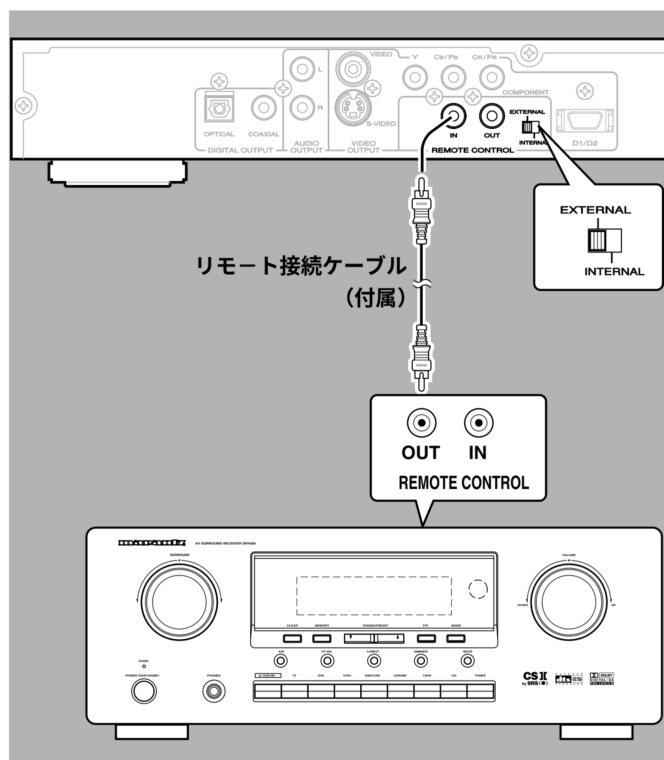


ご注意

- 本機の映像出力、およびS映像出力端子からはプログレッシブ出力されません。
- ご使用されるTVに合わせて下記設定をお選びください。（P. 32）

ディスクの種類	TVシステム	
（DVD / VCD）	マルチ	NTSC
NTSC	NTSC	NTSC
PAL	PAL	NTSC

リモートコントロール入力／出力端子の接続



■リモートコントロール入力／出力端子

付属のリモートコントロールケーブルで、DV4300 を弊社のAV機器に接続すると、システムでのリモートコントロールができます。

- RC-5リモート端子を持った機器と接続する場合は、必ず本機の"REMOTE CONTROL IN"端子と、RC5リモート端子を持った機器の"REMOTE CONTROL OUT"端子を接続してください。
- 赤外線リモートセンサーを持たない機器と接続する場合は、必ず本機の"REMOTE CONTROL OUT"端子に接続してください。なお、RC5の接続コードは、市販のRCAコードをご使用ください。

■リモートコントロール 内部／外部（REMOTE CONTROL INT./EXT.） スイッチ

本機を赤外線リモコン送信機を使用して単独で操作する場合はINT側に、弊社のRC5対応のリモートセンサーを搭載しているオーディオ機器とリモート接続し、システムとして使用する場合は、EXT側に設定してください。

ご注意

- 本機を単独で使用する場合は必ずINT側に設定してください。このスイッチがEXT側に設定されていると、赤外線リモコン送信機からの信号が受信できなくなります。

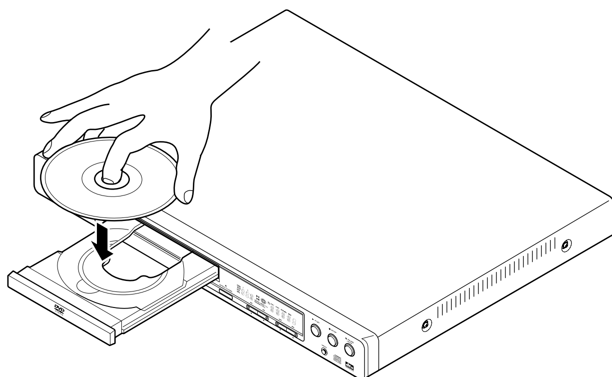
基本的な使い方

ディスクを再生する

1. 電源(POWER)ボタンを押して、電源を入れます。

2. オープン／クローズ(⏏ OPEN／CLOSE)ボタンを押して、ディスクテーブルを開けます。

3. お好みのディスクをレーベル面を上にして、ディスクテーブルに置きます。両面に記録されているディスクのときは、見たい面を下に置いてください。



4. オープン／クローズ(⏏ OPEN／CLOSE)ボタンを押して、ディスクテーブルを締めてください。
   DVDソフトによっては、自動的に再生が始まるディスクがあります。

5. 再生(▶ PLAY)ボタンを押すと、再生が始まります。

■ DVD のメニュー画面が表示されたとき



以下の手順で操作します。

1. カーソルボタンで項目を選ぶ。
2. エンター(ENT)ボタンを押す。

■ VCD SVCD のメニュー画面が表示されたとき



以下の手順で操作します。

1. 聞きたいトラック(曲)の数字ボタンを押す。
2. エンター(ENT)ボタンを押す。

メニュー画面を表示する



メニュー画面付DVDでは、音声や字幕の言語を切り換えたり、特別に収録された映像などを見ることができます。
PBC(プレイバックコントロール)機能付ビデオCDでは、メニュー画面で曲を選んで再生することができます。
ディスクによってメニュー画面の操作方法が異なります。詳しいメニュー画面の操作方法についてはディスクに添付されている操作ガイドなどをご覧ください。

DVD のメニュー画面を表示する

1. メニュー／リターン(MENU／RETURN)ボタン、またはトップメニュー／PBC (TOP MENU／PBC)ボタンを押します。
2. カーソルの上下左右ボタン(◀ ▶ ▲ ▼)を動かして項目を選びます。リモコンの数字ボタンを押して項目を選ぶことができるディスクもあります。
3. エンター(ENT)ボタンを押します。

VCD SVCD のメニュー画面を表示する

本機は、ビデオCD／スーパービデオCD再生時にメニュー画面に従って再生トラックを選択するPBC(プレイバックコントロール)機能を装備しています。
ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドも合わせてご覧ください。

1. PBC再生対応ディスクを入れます。ディスクによっては、自動的に再生が始まるディスクがあります。
2. 再生(▶ PLAY)ボタンを押します。メニュー画面が表示され、PBC再生が始まります。
3. 数字ボタンで再生したいトラック(曲)を選び、エンター(ENT)ボタンを押します。再生が始まります。再生中にメニュー／リターン(MENU / RETURN)ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

■ メニュー画面のページをめくる、または戻す

前(⏮ PREVIOUS)、または次(⏭ NEXT)ボタンを押します。

■ メニュー画面を出さずに(PBC再生を解除して)再生したいトラックを選ぶ

1. 再生中または停止中にトップメニュー／PBC (TOP MENU／PBC)ボタンを押します(画面に“ PBC OFF ”が表示されます)。
2. 数字ボタンで再生したいトラックを選び、エンター(ENT)ボタンを押します。または前(⏮ PREVIOUS)、次(⏭ NEXT)ボタンを押します。

再生中に音声／字幕を切り換える

DVDの中には、再生中にリモコンの音声（AUDIO）ボタン／字幕（SUBTITLE）ボタンで音声／字幕を切り換えることができないディスクがあります。このようなときはディスクのメニュー画面で切り換えてください（P. 18）。

再生中に音声を切り換える



複数の言語で音声が記録されているDVDでは、再生する音声言語を変更することができます。
再生中にリモコンの音声（AUDIO）ボタンを押します。現在選択している音声が画面上に表示されます。押すたびに音声が切り換わります。
また、カラオケソフトでは再生中にリモコンのボーカル（VOCAL）ボタンを押すことによりコーラス、伴奏が切り換わります。



音声が二重音声であったり、主音声、副音声で記録されているビデオCDや音楽CDの音声を切り換えることができます。
再生中にリモコンのボーカル（VOCAL）ボタンを押します。
現在選択している音声が画面上に表示されます。押すたびに音声が切り換わります。

再生中に字幕を切り換える



複数の言語で字幕が記録されているDVDでは、表示する字幕を変更することができます。
再生中にリモコンの字幕（SUBTITLE）ボタンを押します。現在選択している字幕が表示されます。押すたびに字幕表示が切り換わります。

■ 字幕を消す
字幕（SUBTITLE）ボタンを押してオフを選びます。

ご注意
- ここで切り換えた音声、または字幕の設定は、ディスクを取り出したとき初期設定に戻ります。
- 再生中のディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
- カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

ディスクを一時停止／停止する

ディスクを一時停止する（静止画再生）

再生中に一時停止／ステップ（❚❚ PAUSE／STEP）ボタンを押します。

■ 通常の再生に戻す
一時停止中(静止画再生中)に再生（▶ PLAY）ボタンを押します。

ディスクを停止する

再生中に停止（■ STOP）ボタンを押します。
DVDビデオ、ビデオCD、およびスーパービデオCDでは、画面に“リジューム”と表示され、停止した場所を記憶するリジューム機能が働きます。音楽CDおよびMP3ファイルでは、リジューム機能は働きません。

■ 停止した場所から再生する
再生（▶ PLAY）ボタンを押します。

■ リジューム機能を解除する
画面に“停止”と表示されます。
以下のいずれかの操作をします。
- ディスクを取り出す。
- 停止中（リジューム中）に停止（■ STOP）ボタンを押す。

ディスクを取り出す

オープン／クローズ（⏏ OPEN／CLOSE）ボタンを押すと、ディスクテーブルが開きます。

電源を切る

電源（POWER）ボタンを押します。ディスクテーブルが閉じてスタンバイになります。

ご注意
- DVDでは、リジューム機能を解除しているとき再生（▶ PLAY）ボタンを押すとタイトル1の始めから再生します。

便利な使い方

見たいチャプター(場面)／トラック(曲)にスキップする(頭出し)

DVD　VCD　SVCD　CD

チャプター(場面)／トラック(曲)を頭出しします。押した回数だけスキップします。

見たいチャプター（場面）／トラック（曲）に進む

再生中に次(►►I NEXT)ボタンを押します。

見たいチャプター（場面）／トラック（曲）に戻る

再生中に前(I◄◄ PREV)ボタンを押します。

ディスクを早送り／早戻しする(スキャン)

DVD　VCD　SVCD　CD

早送りする

再生中にスキャン(►► FF/SF)ボタンを押します。ボタンから指を離しても早送りを続けます。スキャン中は画面に
" ►► 2X" が点灯します。

早戻しする

再生中にスキャン(◄◄ FR/SR)ボタンを押します。ボタンから指を離しても早戻しを続けます。スキャン中は画面に
" ◄◄ 2X" が点灯します。

通常の再生に戻す

見たい／聞きたい場所で再生(► PLAY)ボタンを押します。

早送り／早戻しの速さを変える

■ 早送りの速さを変える

再生中にスキャン(►► FF/SF)ボタンを押します。押すたびに速さが以下のように切り替わります。

・DVDビデオ:2倍速→4倍速→8倍速→16倍速→32倍速→64倍速
・ビデオCD／スーパービデオCD:2倍速→4倍速→8倍速→16倍速
・音楽CD／MP3ファイル:2倍速→4倍速→8倍速

■ 早戻しの速さを変える

再生中にスキャン(◄◄ FR/SR)ボタンを押します。押すたびに速さが以下のように切り換わります。

・DVDビデオ:2倍速→4倍速→8倍速→16倍速→32倍速→64倍速
・ビデオCD／スーパービデオCD:2倍速→4倍速→8倍速→16倍速
・音楽CD／MP3ファイル:2倍速→4倍速→8倍速

■ 通常の再生に戻す

再生(► PLAY)ボタンを押します。

注意　早送り／早戻しに於いて、音楽CD／MP3ファイル以外の音声は出力されません。

見たい／聴きたい場所を探す(サーチモード)

DVD　VCD　SVCD　CD

DVDビデオのタイトル／チャプター(場面)、ビデオCD／スーパービデオCD／音楽CDのトラック(曲)、MP3のフォルダー／トラック(曲)、さらに再生を開始する時間を指定(タイムサーチ)して、見たい/聞きたい場所を探すことができます。

1. 画面表示(DISPLAY)ボタンを押します

2. カーソルのボタンを動かして、サーチの種類を選びます

DVD

チャプター（C.）または、カーソル左 ◄ ボタンを押してタイトル（T.）を選びます。
再度、画面表示（DISPLAY）ボタンを押すと、タイムサーチモードになります。

VCD　SVCD　CD

トラックまたは、カーソル右 ► ボタンを押して時間（タイム）を選びます。

3. 希望のタイトル、チャプター、トラック、または再生を開始したい時間を数字ボタンで選びます

■ タイトル、またはチャプター(場面)／トラック(曲)番号で探す

[例]　・3を選ぶには、3を押します。
　　　・14を選ぶには、1と4を押します。

■ 時間で探す(タイムサーチ)

[例]　DVDの時-- 21分43秒を選ぶには、0、2、1、4、3と押します。
　　　CDの時---- 21分43秒を選ぶには、2、1、4、3と押します。

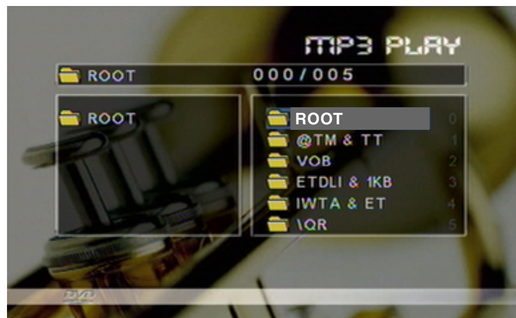
4. エンター(ENT)ボタンを押します
指定した場所から再生します。

- ディスクによってはメニューを使ってサーチできるものもあります。メニュー画面を表示させて選択してください(P. 18)。
- ディスクによってサーチ機能を禁止しているものがあります。その場合は ⃠ マークが画面に表示されます。
- DVD ビデオまたはビデオCD、スーパービデオCDでは指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- VCD のPBC再生中、タイムサーチはできません。トップメニュー／PBC(TOP MENU／PBC)ボタンを押し、PBC再生を解除してください。

MP3ナビゲーターを使って聴きたいトラック（曲）を探す

1. MP3ファイルが記録されたディスクをディスクテーブルの上に置き､ディスクテーブルを閉めます

自動的にMP3ナビゲーター画面が表示されます。



2. カーソルの上下ボタン(▲／▼)を動かして聞きたいフォルダーを選びます

カーソルの上下ボタン（▲／▼）を押し続けると、前／次のフォルダーの選択画面に切り換わります。

3. 決定(ENT)ボタンを押します

フォルダーの中のトラックが表示されます。



4. カーソルの上下ボタン(▲／▼)を動かして聞きたいトラックを選びます

カーソルの上下ボタン（▲／▼）を押し続けると、前／次のトラックの選択画面に切り換わります。

5. 決定(ENT)ボタンを押します

注意（MP3の再生について）

- ● サンプリング周波数は 32kHz、44.1kHz、48kHzに対応してます。
- ● 可変ビットレートには対応してません。
- ● 記録ビットレートは56kbpsから259kbpsまで対応します。音質的には、記録ビットレート128kbps を推奨します。
- ・フォルダーは126まで、 総トラック数は255 まで対応しています。（P. 6）

ダイレクトサーチ

数字ボタンとエンター（ENT）ボタンを押すだけで見たい／聞きたい場所を探すことができます。

注意

● ディスクによってダイレクトサーチ機能ができないものがあります。その場合は ⃠ マークが画面に表示されます。

■ トラック(曲)をダイレクトサーチする



希望のトラックを数字ボタンで選んで、エンター（ENT）ボタンを押します。

[例]　・3を選ぶには､3を押して､エンター(ENT)ボタンを押します。

・14を選ぶには､1､4を押して､エンター(ENT)ボタンを押します。

画像をコマ送りで見る（コマ送り再生）

DVD VCD SVCD

1. 再生中に一時停止／ステップ（ II PAUSE／STEP）ボタンを押します
   一時停止（静止画）になります。

2. 一時停止中（静止画再生中）に一時停止／ステップ（II PAUSE／STEP）ボタンを押します
   押すたびにコマ送りします。

■ 通常の再生に戻すには...
再生（▶ PLAY）ボタンを押します。

画像をスローで見る（スロー再生）

DVD VCD SVCD

1. 再生中に一時停止／ステップ（ II PAUSE／STEP）ボタンを押します
   一時停止（静止画）になります。

2. スキャン早送り（►► FF/SF）ボタンを押します
   " ►► 1/2 "と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

■ スロー再生の速さを変える
スロー再生中にスキャン早送り（►► FF/SF）ボタンを押します。
押すたびに速さが以下のように換わります。

→ 1/2 → 1/4 → 1/8

注意
● スロー再生中に一時停止／コマ送り（II PAUSE／STEP）ボタンを押すと一時停止（静止画）に戻ります。

3. 逆方向にスロー再生します
   一時停止中（静止画再生中）にスキャン早戻し（◄◄ FR/SR）ボタンを押します。

注意
● ビデオCD／スーパービデオCDでは逆方向にスロー再生はできません。

■ スロー再生の速さを変える
スロー再生中にスキャン早戻し（◄◄ FR/SR）ボタンを押す。押すたびに速さが以下のように換わります。

→ 1/2 → 1/4 → 1/8

注意
● スロー再生中に一時停止／ステップ（II PAUSE／STEP）ボタンを押すと一時停止（静止画）に戻ります。

■ 通常の再生に戻す
再生（▶ PLAY）またはクリア（CLEAR）ボタンを押します。

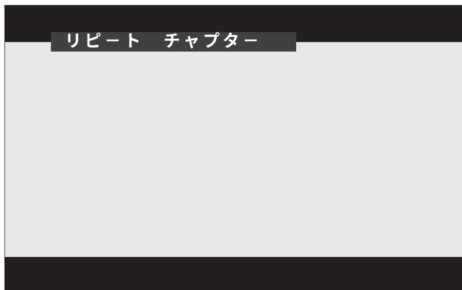
ご注意
● 静止画、コマ送り、スロー再生中は音声が出力されません。
● DVDビデオのディスクによっては、逆方向のスロー再生がスムーズにできないことがあります。
● DVDビデオの逆方向スロー再生時は通常の再生時より画質が落ちることがあります。
● ディスクによっては、静止画再生、コマ送り再生、スロー再生のできないディスクもあります。その場合は マークが画面に表示されます（CD、MP3 はできません）。
● 順／逆方向のスロー再生または逆方向のスキャン中、字幕は表示されません。
● ビデオCD、スーパービデオCDでは逆方向スロー再生ができません。

繰り返し再生する（リピート再生）

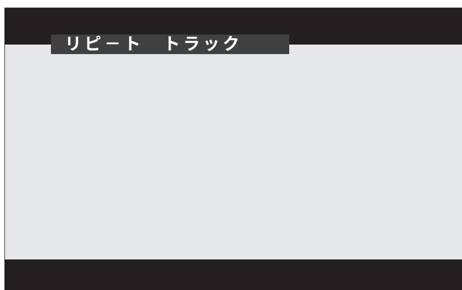
DVD　VCD　SVCD　CD　MP3

再生中のチャプター（場面）／トラック（曲）を繰り返す

■ DVD VCD SVCD CD を再生しているとき
リピート（REPEAT）ボタンを1回押します。



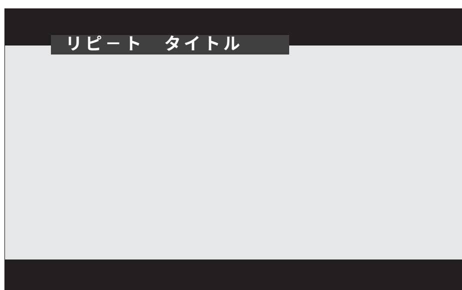
DVDの場合



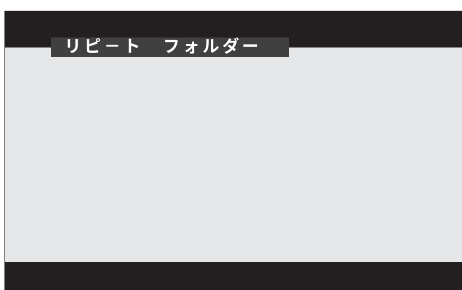
VDC, SVCD, CDの場合

再生中のタイトル／フォルダーを繰り返す

■ DVD MP3 を再生しているとき
リピート（REPEAT）ボタンを2回押します。



DVDの場合

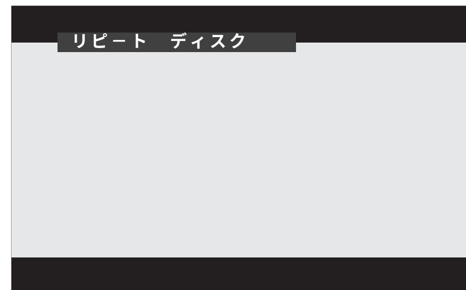


MP3の場合

再生中のディスクを繰り返す

■ VCD SVCD CD を再生しているとき
リピート（REPEAT）ボタンを2回押します。

■ MP3 を再生しているとき
リピート（REPEAT）ボタンを3回押します。



VDC, SVCD, CD, MP3の場合

通常の再生に戻す

リピート（REPEAT）ボタンを押してリピートオフを選びます。

指定した範囲を繰り返し再生する（A-Bリピート）

DVD　VCD　SVCD　CD

以下の手順で操作します。

1. 再生中に繰り返し再生したい範囲の始めで2点間A-B（A-B）ボタンを押します。
2. 繰り返し再生したい範囲の終わりで2点間A-B（A-B）ボタンを押します。
   A-Bリピートを解除するにはA-Bリピート再生中に2点間A-B（A-B）ボタンをもう一度押します。

ご注意

- DVD ではタイトルによってはリピート再生のできないものがあります。そのときは、 ⃠ マークが表示されます。
- ビデオCD のPBC 再生中はリピート再生できません。PBC をオフにしてからリピート（REPEAT）ボタンを押します（P. 18）。
- MP3ファイルではA-B リピート再生できません。

順番を変えて再生する（プログラム再生）

ビデオCD／スーパービデオCD／音楽CDのトラック(曲)、MP3のフォルダー／トラック(曲)を希望の順番に並べ換えて再生します。

VCD SVCD CD MP3 のトラック(曲)をプログラムする

1. ストップ(■ STOP)ボタンを押します
2. プログラム(PROG)ボタンを押します
   画面上に " プログラム　P00:00 " と表示されます。



3. プログラム再生したいトラック(曲)を数字ボタンで指定します
4. エンター(ENT)ボタンを押します
   3で指定したトラックナンバー（曲番）がプログラムされます。
   [例]　１曲目にトラックナンバー 5をプログラムした場合
   「プログラム　　P 01:05」
   プログラムした曲数（01）
   プログラムしたトラックナンバー（05）

5. プログラムしたい曲順に 3、4 を繰り返します



上記は　トータルプログラム曲数：3
最後のトラックナンバー：5　を示しています。

6. 再生(▶ PLAY)ボタンを押します
   - プログラムした順に再生が始まります。
   - ビデオCD、スーパービデオCDのPBC再生中にプログラム再生することはできません。PBC再生を解除（PBC OFF）してください。

プログラムを消去する

■ プログラムの内容を１トラック(曲)ずつ消去します

クリア（CLEAR）ボタンを押すと、プログラムした順番と逆に後ろから１曲ずつ消去します。

■ プログラムした内容をすべて消去します

以下のいずれかの操作をします。
- ディスクを取り出す。
- 停止中にクリア（CLEAR）ボタンを3秒以上押す。

■ プログラムした内容を確認します

再生中または一度再生した後、ストップ（■ STOP）ボタンを押し、ストップ状態の時、プログラム（PROG）ボタンを押すごとにプログラムした内容が表示窓、TV画面上で確認できます。

順不同に再生する（SHUFFLE再生）

VCD SVCD CD MP3 を順不同に再生する

■ トラック(曲)を順不同に再生する

1. 停止中にシャッフル（SHUFFLE）ボタンを押します。

2. 再生（ ▶ PLAY）ボタンを押します。

・ 再生中にシャッフル（SHUFFLE）ボタンを押すと、シャッフル再生になります。
・ すべてのトラックの再生が終了すると自動的に停止します。

シャッフル再生を解除する

シャッフル（SHUFFLE）ボタンを押すと、シャッフル再生を解除します。
表示窓のシャッフル（SHUFFLE）表示は消えます。

ご注意

● MP3再生時、シャッフル（SHUFFLE）ボタンを押すと、ランダム再生になります。TV画面上に「ランダム」と表示され、表示窓にシャッフル（SHUFFLE）が表示されます。

ランダム再生はシャッフル再生が解除されるまで再生し続けます。

再度、シャッフル（SHUFFLE）ボタンを押すと、シャッフル再生になり、TV画面上に「シャッフル」と表示されます。

シャッフル再生はすべてのトラックの再生が終了すると自動的に停止します。

● シャッフル再生中に次 (▶▶I NEXT)ボタンを押すと、順不同に次のトラック（曲または場面）を選んで再生します。

● ビデオCD、スーパービデオCD のPBC 再生中はシャッフル再生することはできません。PBC再生を解除してください（P.18）。

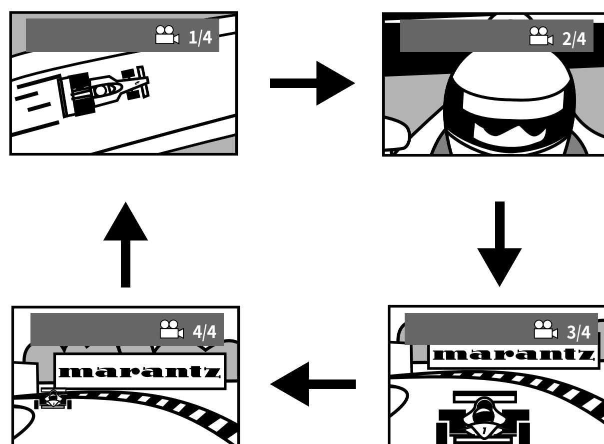
映像のアングルを切り換える（マルチアングル）

DVD

複数の方向（アングル）から映した映像を収録したDVDビデオは、再生中にアングルを切り換えることができます。
複数のアングルが収録されたDVDビデオのジャケットにはマークが付いています。

1 再生中、 マークが表示されたら、アングル（ANGLE）ボタンを押す

2 さらにアングル（ANGLE）ボタンを押して、お好みのアングルを選ぶ
押すたびに、アングルが切り換わります。



・ ディスクによっては マークが表示されてもアングルを切り換えることができないものがあります。
・ 複数のアングルが収録されている場所にくると、 マークが画面に表示されます。
・ 一部のDVD ビデオでは、ディスクのメニュー画面でもアングルを切り換えることができます。
・ マークを表示させたくないときは、初期設定画面の[アングルマーク]を[オフ]にします（P. 35）。

音声を立体音場にする（3D SOUND）

DVD CD MP3

2つの前面スピーカのみで、より臨場感ある立体音場が再現できるバーチャルサラウンド（仮想立体音場）を実現しています。
3D sound ボタンを押すたびに効果が4段階に変わります。

3Dサウンド1 → 3Dサウンド2 → 3Dサウンド3 → 3Dサウンド4 → オフ

ご注意

DVDディスクはDolby Digital 2ch ステレオのみ立体音場効果があります。

ディスクの情報を見る

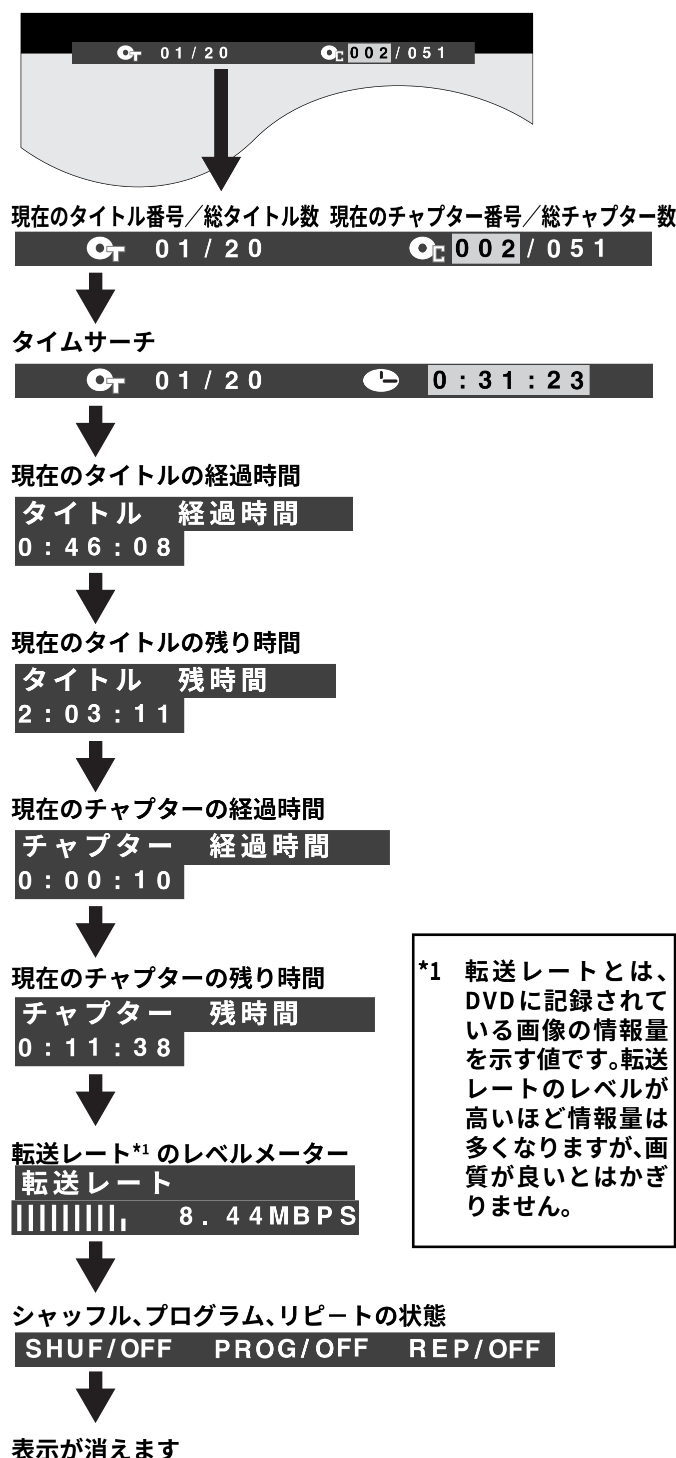
DVD VCD SVCD CD MP3

DVDビデオのタイトル／チャプター情報、音楽CD／ビデオCD／スーパービデオCDのトラック情報、またはMP3のフォルダー／トラック情報を見ることができます。表示される情報の内容はディスクの種類（DVDビデオ、音楽CD、ビデオCD、スーパービデオCDおよびMP3）によって異なります。

再生中にディスクの情報を見る

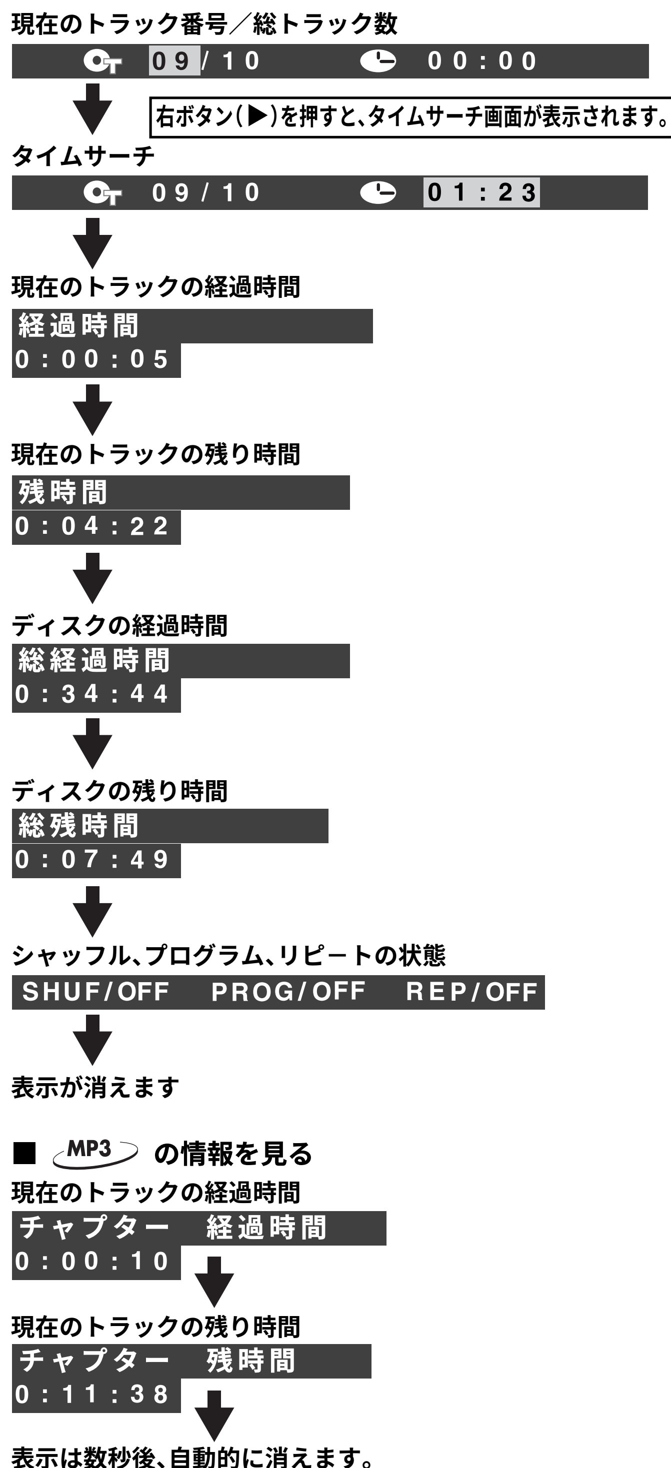
再生中に画面表示（DISPLAY）ボタンを繰り返し押します。-押すたびに以下のようなディスク情報が画面上部に表示されます。

■ DVD の情報を見る



*1 転送レートとは、DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとはかぎりません。

■ VCD SVCD CD の情報を見る



再生中に映像を拡大する（ズーム）

DVD　VCD　SVCD

DVDビデオ、ビデオCD、スーパービデオCDの再生中に映像を拡大して見ることができます。

1. 映像を拡大します

再生中にズーム（ZOOM）ボタンを押します。
押すたびにズームの倍率が以下のように換わります。

→ ２倍 → ４倍 → ８倍 → オフ（通常）

2. 拡大している領域を移動します

カーソルボタン（◀ ▶ ▲ ▼）を押すと、拡大している領域を移動することができます。
一部のDVDビデオではズームできないことがあります。

ダイジェストを見る（聴く）

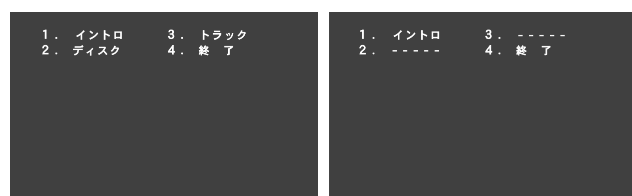
VCD　SVCD　CD　JPEG　Kodak Picuture CD

1. 停止（■ STOP）ボタンを押します

音楽CDやビデオCD、スーパービデオCDの再生を停止にします。
ビデオCD、スーパービデオCDはトップメニュー／PBC（TOP MENU／PBC）ボタンを押して、PBCをオフにしてください。

2. アングル／ダイジェスト（ ／DIGEST）ボタンを押します

画面に以下の４つのサブメニューが表示されます。



VCD, SVCD の場合　　CDの場合

a. イントロ再生（イントロ） VCD　SVCD　CD

全トラックの最初の10秒間だけ次々に再生します。
全トラックの再生が終わると再生を停止します。

b. ディスクプレビュー（ディスク） VCD　SVCD

全トラックの始まりの映像を、画面全体を使い9トラックずつ小さなスクリーンを表示する機能です。それぞれのスクリーンは、約5秒間だけ次々に再生されます。

次（NEXT）ボタンを押すと次の画面（ページ）、前（PREVIOUS）ボタンを押すと前の画面（ページ）になります。

c. トラックプレビュー（トラック） VCD　SVCD

１つのトラックを9つに分けて、それぞれの始まりの映像を、画面全体を使い9トラックずつ小さなスクリーンを表示する機能です。それぞれのスクリーンは、約5秒間だけ次々に再生されます。

次（NEXT）ボタンを押すと次の画面（ページ）、前（PREVIOUS）ボタンを押すと前の画面（ページ）になります

d. プレビューを終える（終了）

ダイジェスト機能から出ます。

3 数字ボタン（1〜4）押して、ダイジェスト機能を選びます

4 数字ボタンを押して見たいトラックや場面を選びます

ディスクプレビューやトラックプレビューの場合、見たいトラックや場面を数字ボタンで選んで再生することができます。

見たい（聴きたい）部分を記憶する（マーカー）

DVD　VCD　SVCD　CD

再生中にもう一度見たい（聴きたい）部分をマーキングし、記憶することができます。

見たい（聴きたい）部分を記憶する

1. 再生中にマーカー（MARKER）ボタンを押します

画面に以下のようなメニューが表示されます。



2 カーソル左右（◀ ▶）ボタンを押して、メニュー上のマーカーポイントを移動します

3 記憶する場面でエンター（ENT）ボタンを押します

マーカーポイントに ✓ 印が表示されます。



4 他の場面もマーキングする場合、2、3を繰り返します

最大５ケ所記憶させることができます。

見たい（聴きたい）部分を再生する

1. マーカー(MARKER)ボタンを押します
画面にメニューが表示されます。

2. カーソル左右(◀ ▶)ボタンを押して、メニュー上のマーカーポイントを移動します
見たい（聴きたい）場面を記憶した v印 に移動します。

3. エンター(ENT)ボタンを押します
見たい（聴きたい）場面から再生を始めます。

記憶したマーキングを消す

1 マーカー(MARKER)ボタンを押します
画面にメニューが表示されます。

2 カーソル左右(◀ ▶)ボタンを押して、消去したい場面(✓ 印)にマーカーポイントを移動します

3 クリア(CLEAR)ボタンを押します
✓ 印が消えて、マーキングが消去されます。

本機からディスクを取り出したり、電源をスタンバイにすると記憶したマーキングは全て消去されます。

Kodak ピクチャーCDの再生

Kodak ピクチャーCDをディスクテーブルに置きます。
オープン／クローズ(OPEN／CLOSE)ボタンを押してディスクテーブルを締めると、自動的にスライドショーが始まります。

ダイジェスト(／DIGEST)ボタンを使用すると、9画面ずつ作品をみることができます。
スライドショーを効果的に見るために、下の12のモードがあります。
メニュー(MENU／RETURN)ボタンを使用して見てください。

1. スライドショーの設定

スライドショー ： オフ
スライドショー 1： 上から下にワイプします。
スライドショー 2： 下から上にワイプします。
スライドショー 3： 上下から中心にワイプします。
スライドショー 4： 中心からに上下にワイプします。
スライドショー 5： 上から下にすだれ状にワイプします。
スライドショー 6： 左から右にワイプします。
スライドショー 7： 右から左にワイプします。
スライドショー 8： 左右から中心にワイプします。
スライドショー 9： 中心からに左右にワイプします。
スライドショー 10： 周辺から中心にワイプします。
スライドショー 11： 左から右にすだれ状にワイプします。
ランダム： ランダムにワイプします。

2. スライドショーの回転

カーソル（◀ ▶ ▲ ▼）ボタンを使用します。
◀ 左へ回転します。
▶ 右へ回転します。
▲ 天地が逆さになります。
▼ 左右が逆さになります。

ご注意
ディスクによっては自動的にスライドショーが始まるものもあります。

JPEGファイルの再生

- JPEGファイルのCDをディスクテーブルに置きます。
- オープン／クローズ（⏏ OPEN／CLOSE）ボタンを押してディスクテーブルを締めると、自動的にスライドショーが始まります。
- Kodak ピクチャーCD同様にメニュー（MENU／RETURN）ボタン、矢印（◀ ▶ ▲ ▼）ボタンを使用してスライドショーを見てください。
- ズーム（ZOOM）ボタンを押して、スキャン早送り（▶▶ FF／SF）ボタン、スキャン早戻し（◀◀ FR／SR）ボタンを押すと、画面サイズが25％～200％で拡大縮小できます。
- 矢印（◀ ▶ ▲ ▼）ボタンを押すと、画面位置の調整ができます。

ご注意
ディスクによっては自動的にスライドショーが始まるものもあります。

初期設定画面の操作のしかた

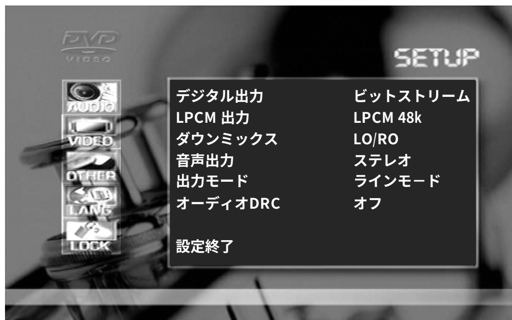
工場出荷時の設定を変更したいとき、またはお好みの設定にしたいときに行います。ここでは初期設定画面の基本的な操作方法や使用するボタンの位置について説明します。

1 初期設定(SETUP)ボタンを押します。

初期設定画面が表示されます。
設定項目は以下の通りです。

- 音声(AUDIO):音声に関する設定
- 映像(VIDEO):映像に関する設定
- その他(OTHER):表示などに関する設定
- 言語(LANG.):音声/字幕/画面表示の言語に関する設定
- 視聴制限(LOCK):視聴制限(パレンタルロック)に関する設定

[例]



2 カーソル上下(◀ ▶)ボタンを押して、設定したい項目をAUDIO[オーディオ]、VIDEO[ビデオ]、OTHER[その他]、LANG[言語]、LOGIC[視聴制限]から選びます。

3 カーソル右ボタン(▶)を押して、選択肢の欄にカーソルを移動します。

4 カーソルの上下ボタン(▲ ▼)を操作して、設定したい項目を選びます。

5 カーソル右ボタン(▶)を押して、設定したい選択肢の欄にカーソルを移動します。

6 カーソルの上下ボタン(▲ ▼)を操作して、設定したい項目を選びます。

7 エンター(ENT)ボタンを押します。

他の項目の設定を変更するときは、カーソル左(◀)ボタンでカーソルを移動させ、手順2〜6を繰り返します。

8 初期設定(SETUP)ボタンを押します。

初期設定画面が消えます。

- 初期設定を操作すると、リジューム機能(P. 19)が解除される場合があります。
- 初期設定を終了してから再び初期設定画面を表示させると、前回設定していた初期設定画面を表示します。
- ディスクの種類(DVDビデオ/ビデオCD/スーパービデオCD/音楽CD/MP3)によって、変更できる設定が異なります。

音声(AUDIO)の設定をする

音声(AUDIO)の設定項目は、以下の通りです。

- ● デジタル出力
- ● LPCM出力
- ● ダウンミックス
- ● 音声出力
- ● 出力モード
- ● オーディオDRC



AUDIO(音声)の設定から初期設定画面に戻るには、設定終了をカーソルボタンで選んで、エンター(ENT)ボタンを押します。

デジタル出力の設定をする

本機に接続したアンプが対応しているデジタル信号の種類を選択することができます。ご使用のアンプの取扱説明書もあわせてお読みください。

● ビットストリーム(出荷時の設定)

ディスクに記録されているDolby Digital、DTS および PCM といったデジタル音声信号をデジタル出力端子からそのまま出力します。

Dolby Digital、DTS に対応したアンプ/デコーダーと接続するときに選びます。

● PCM

PCMデジタル音声信号をデジタル出力端子から出力します。Dolby Digital信号はPCM信号に変換されますが、DTS信号はPCM信号に変換できません。

Dolby Digitalに対応していないアンプと接続するときに選びます。

DTSに対応していないアンプと接続しているとき、ノイズを発生することがあります。このとき、デジタル出力をOFFに選定してください。

LPCM出力の設定をする

デジタル出力端子から出力されるPCM信号のサンプリング周波数を48kHzまたは96kHzに設定します。

● LPCM 48k(出荷時の設定)

サンプリング周波数48kHz のPCM信号をデジタル出力端子から出力します。 サンプリング周波数 96kHzのPCM信号は、48kHzにダウンサンプリングされてから出力されます。

サンプリング周波数96kHzに対応していないアンプなどと接続するときに選びます。

● LPCM 96k

サンプリング周波数96kHz のPCM信号をデジタル出力端子から出力します。サンプリング周波数96kHzに対応しているアンプなどと接続するときに選びます。

LPCM 出力設定	音声出力	
	48k Disc	96k Disc
LPCM 48k	48kサンプリング	48kサンプリング
LPCM 96k	48kサンプリング	96kサンプリング

LPCM 出力設定	デジタル 同軸/光出力	
	48k Disc	96k Disc
LPCM 48k	48kサンプリング	48kサンプリング
LPCM 96k	48kサンプリング	96kサンプリング

LPCMを96kHzに設定していても、ディスクによっては強制的に48kHzに変更されたり、デジタル出力されないことがあります。

DISC / デジタル出力設定	DVD									VCD & CD & MP3		
	Dolby Digital Disc			LPCM Disc			DTS Disc					
	ﾋﾞｯﾄｽﾄﾘｰﾑ	PCM	オフ	ﾋﾞｯﾄｽﾄﾘｰﾑ	PCM	オフ	ﾋﾞｯﾄｽﾄﾘｰﾑ	PCM	オフ	ﾋﾞｯﾄｽﾄﾘｰﾑ	PCM	オフ
デジタル 同軸/光 出力	Dolby Digital	PCM	–	PCM	PCM	–	DTS	DTS	–	PCM (Except MP 3)	PCM (Except MP 3)	–

ダウンミックスの設定をする

Dolby Digital信号をダウンミックスし、アナログ2チャンネル信号に変換する方法を設定します。DTSやMPEG信号はダウンミックスできません。

● LT／RT

Dolby Digital信号をマトリックスエンコードされた2チャンネル（LT／RT）信号に変換します。

ドルビープロロジックデコーダを搭載したアンプやデコーダーとアナログ（2チャンネル）接続するときに選びます。

● LO／RO（出荷時の設定）

5.1チャンネルのDolby Digital信号を2チャンネルステレオ信号に変換します。

テレビやステレオアンプと接続するときに選びます。

音声出力の設定をする

● ステレオ（出荷時の設定）

● 左ch モノラル

左chの音声を音声出力端子のL端子、R端子より出力します。

● 右ch モノラル

右chの音声を音声出力端子のL端子、R端子より出力します。

● MIXモノラル

左右chの音声をミックス音声出力端子のL端子、R端子より出力します。

出力モードの設定をする

ダイナミックレンジコントロールとダウンミックスとの選定を簡単にするため、ラインモードとRFモードの選定があります。

● ラインモード（出荷時の設定）

アンプと接続するときに選定します。

● RFモード

TVと接続するときに選定します。音声はラインモード選定時より大きくなります。

オーディオDRC の設定をする

音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調節します。この機能は、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、台詞が聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。

出荷時は、オフに設定されています。レベル8で効果が最大になり、爆発音などの大音量を抑え、台詞などが聞きやすくなります。オフとレベル8の間は8段階で効果を設定できます。

● この機能はドルビーデジタル音声にのみ働きます。

● ディスクによっては効果の少ないものがあります。

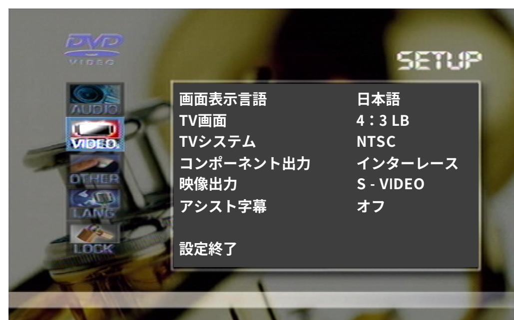
● この機能はデジタル出力（光、同軸）端子から出力される音声にも効果があります。

● この機能の効果は、お使いのスピーカーまたはAVアンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、お好みの設定をお選びください。

映像（VIDEO）の設定をする

映像（VIDEO）の設定項目は、以下の通りです。

- ● 画面表示言語
- ● TV画面
- ● TVシステム
- ● コンポーネント出力
- ● 映像出力
- ● アシスト字幕



映像（VIDEO）の設定から初期設定画面に戻るには、設定終了をカーソルボタンで選んで、エンター（ENT）ボタンを押します。

画面表示言語の設定をする

初期設定画面などに表示する言語を切り換えます。
出荷時の設定は日本語です。

TV画面を設定する

本機に接続したテレビにあわせて設定します。ワイドテレビに接続しているときは [16:9 ワイド] に設定します。
DVDビデオの映画ソフトの多くは、画面の比率（アスペクト比）が横16：縦9で記録されています。
従って、DVDビデオを従来サイズのテレビ（横4：縦3）で見ると、映像が縦長になってしまいます。このような場合は、[4:3 LB（レターボックス）]、または[4:3 PS（パンスキャン）]に設定してください。

● 4:3 PS（パンスキャン）

従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式(P. 34)で見たいときに選択します。 横16：縦9の映像は、左右を切り落として全画面に表示します。

● 4:3 LB（レターボックス）（出荷時の設定）

従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式(P. 34)で見たいときに選択します。 横16：縦9の映像は全画面表示しますが、画面の上下に黒色の帯を表示します。

● 16:9 ワイド

ワイド(16:9)テレビと接続するときに選択します。

ご注意
・アスペクトの切り換えができるか、できないかはディスクによって異なります。詳しくはディスクのジャケットで確認してください。（ P. 6）

TVシステムを設定する

ご使用のテレビに合わせて設定します。DVDビデオやビデオCD、スーパービデオCDを再生する前に、設定がご使用のテレビに合っていることをお確かめください。

● マルチ

再生するディスクの映像方式（NTSCまたはPAL）のまま映像を出力します。マルチシステムテレビを接続するときに接続します。

● NTSC（出荷時の設定）

NTSC方式で映像を出力します。 PAL方式で記録されているディスクの場合、NTSC方式に変換して出力します。

ディスク		プレーヤー設定	
種類	映像方式	TVシステム	
		NTSC	マルチ
DVD	NTSC	NTSC	NTSC
	PAL	NTSC	PAL
VCD	NTSC	NTSC	NTSC
SVCD	PAL	NTSC	PAL

お知らせ
この設定はリモコンのPAL/NTSCボタンでも設定できます。

コンポーネント出力を設定する

コンポーネント接続したテレビがプログレッシブ入力対応のとき、インターレーススキャンとプログレッシブスキャンのどちらの方式で出力するかを切り換えます。

● インターレース（出荷時の設定）

プログレッシブ入力対応でないテレビまたはプロジェクターのときに設定します。

● プログレッシブ

きめ細かな映像が得られる高画質モードで、プログレッシブ入力対応のテレビまたはプロジェクターのときに設定します。

ご注意

- ● プログレッシブ入力対応でないテレビと接続しているときは、［プログレッシブ］を選択しないでください。映像は表示されません。
- ● 現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換が取れていない為、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機の出力を［インターレース］に切り換えてください。
- ● リモコンの停止（■ STOP）ボタンを5秒以上押すと、コンポーネント出力の設定はプログレッシブからインターレースになります。

映像出力を設定する

本機に接続するテレビやAVアンプの映像入力端子にあわせてS-VIDEOまたはコンポーネントに設定します。

● S-VIDEO（出荷時の設定）

S映像出力端子から映像を出力します。 テレビやAVアンプのS映像入力端子と接続するときに設定します。

S-VIDEOに設定すると、コンポーネント映像出力端子、D1／D2端子から正常な映像は出力されません。

● コンポーネント

コンポーネント映像出力端子から映像を出力します。

テレビやAVアンプのコンポーネント映像入力端子やD1／D2端子と接続するときに設定します。

コンポーネントに設定すると、S映像出力端子から正常な映像は出力されません。

プレーヤーの設定 / VIDEO		ビデオ出力			
コンポーネント出力	映像出力	映像出力端子	S-映像出力端子	コンポーネント映像出力端子	D1/D2 端子
インターレース	コンポーネント	ビデオ信号	–	ビデオ信号	ビデオ信号
プログレッシブ	コンポーネント	–	–	プログレッシブビデオ信号	プログレッシブビデオ信号
インターレース	S-VIDEO	ビデオ信号	S-ビデオ信号	–	–

アシスト字幕の設定をする

クローズドキャプションは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。
この項目を選ぶとアシスト字幕を表示します。ただし、
クローズドキャプションの入ったディスクを再生する場合のみ表示します。工場出荷時はオフに設定されます。

■ 映像の見えかた

[従来サイズ(4:3)のテレビのとき]

DVDに記録されている映像	本機の設定	映像の見えかた
16:9のディスク	4:3 LB (レターボックス)	○ 上下に帯がつきますが正しく見えます
	4:3 PS (パンスキャン)	○ 画面の左右が切れますが正しく見えます
	16:9ワイド	× 縦長に見えます このように見える場合は、本機の設定を[4:3(レターボックス)]、または[4:3(パンスキャン)] に切り換えてください。
4:3のディスク	4:3 (LB) 4:3 (PS) 16:9 ワイド いずれの設定でも	○ 正しく見えます

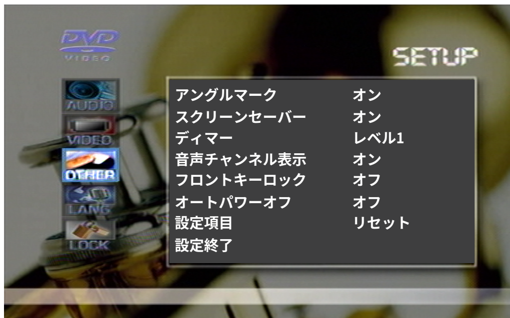
[ワイドテレビ(16:9)のとき]

DVDに記録されている映像	本機の設定	テレビの設定	映像の見えかた
16:9のディスク	16:9 ワイド	ノーマル	× 縦長に見えます
		フル	○ 正しく見えます ディスクによっては上下に帯がつくことがあります。
4:3のディスク	16:9 ワイド	ノーマル	○ 左右に帯がつきますが正しく見えます
		フル	× 横長に見えます このように見える場合は、テレビ側の設定をノーマルに切り換えてください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

その他(OTHER)の設定をする

その他（OTHER）の設定項目は、以下の通りです。

- アングルマーク
- スクリーンセーバー
- ディマー
- 音声チャンネル表示
- フロントキーロック
- オートパワーオフ
- 設定項目



その他(OTHER)の設定から初期設定画面に戻るには、設定終了をカーソルボタンで選んで、エンター(ENT)ボタンを押します。

アングルマークを設定する

再生中に画面に表示される 🎥 マークを表示させたくないとき設定をオフに変更します。

● オン(出荷時の設定)

画面に　マークを表示します。

● オフ

画面に　マークを表示しません。

スクリーンセーバーを設定する

スクリーンセーバーは、一時停止中など同じ画像が長時間表示されるときに生じる画像の焼き付き(残像現象)を防ぐための機能です。設定をオンにすると、約5分同じ画像が表示されるとスクリーンセーバー機能が働きます。

● オン(出荷時の設定)

スクリーンセーバー機能が働きます。

● オフ

スクリーンセーバー機能が働きません。

ディマーを設定する

本体の表示窓の明るさをお好みに合わせて設定できます。

● レベル1(出荷時の設定)

表示窓が明るく点灯します。

● レベル2

表示窓の明るさがブライトに比べてやや暗くなります。

● レベル3

表示窓の明るさが暗くなります。

音声チャンネル表示を設定する

本体 表示窓に点灯する音声チャンネルインジケーターを表示させたくないとき設定をオフ(OFF)に変更します。

● オン(出荷時の設定)

Dolby Digitalが収録されているDVDビデオを再生するとき、表示窓に音声チャンネルインジケーターを表示します。

● オフ

表示窓に音声チャンネルインジケーターを表示しません。

フロントキーロックの設定

本体正面の操作ボタンが働かないよう設定できます。

● オン

本体正面の操作ボタンが働かなくなります。 リモコンでの操作は働きます。

● オフ(出荷時の設定)

本体正面の操作ボタンが働きます。

オートパワーオフ

電源ONの状態で30分以上使用しないと自動的にスタンバイ状態になり、消費電力を下げる省エネルギー設計になっています。

● オン

オートパワーオフ機能が働きます。

● オフ(出荷時の設定)

オートパワーオフ機能が働きません。

設定項目（DEFAULTS）のリセット

リセットを選び、エンター(ENT)ボタンを押すと、全ての設定内容を出荷時の状態に戻します。

ご注意

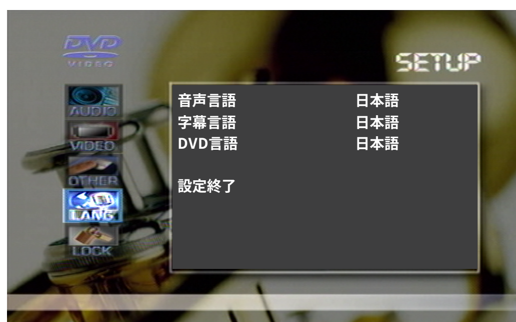
・ 設定状態により一部出荷時の設定に戻らないことがあります。

言語(LANG)の設定をする

DVDビデオの中には1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、ユーザーが目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここでは初期設定画面の[言語]にあるさまざまな言語と字幕に関する設定を行います。

言語(LANG)の設定項目は、以下の通りです。

● 音声言語（AUDIO）
● 字幕言語（SUBTITLE）
● DVD言語（DISC MENU）



言語(LANG)の設定から初期設定画面に戻るには、設定終了をカーソルボタンで選んで、エンター(ENT)ボタンを押します。

音声言語（AUDIO）を設定する

音声言語を選びます。出荷時の設定は英語です。

字幕言語（SUBTITLE）を設定する

表示する字幕言語を選びます。出荷時の設定は日本語です。

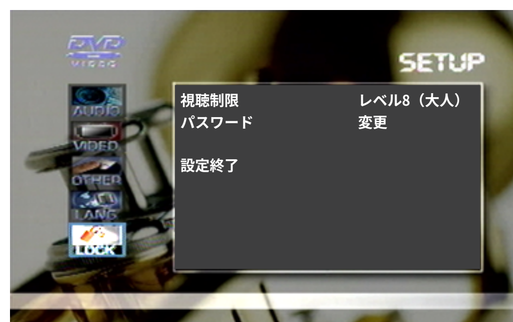
DVD言語（DISC MENU）を設定する

DVDの中にはメニューを持っているものがあります。そのメニューを表示するときの言語を選びます。出荷時の設定は日本語です。

視聴制限(LOCK)の設定をする

暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります(ディスクのジャケットなどの表示で確認できます)。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを6に設定しておくと、レベル7、レベル8のディスクを再生するためにはあらかじめ登録したパスワードの入力が必要です。視聴制限の設定項目は、以下の通りです。

● 視聴制限（パレンタルロック）のレベル
● パスワード

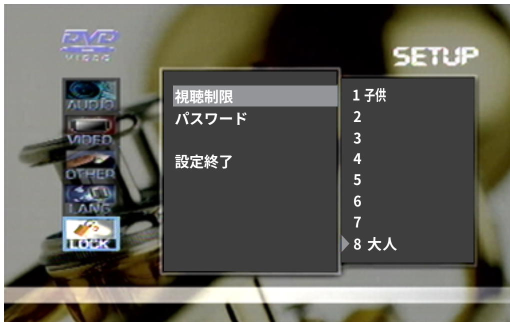


視聴制限の設定から初期設定画面に戻るには、設定終了をカーソルボタンで選んで、エンター(ENT)ボタンを押します。

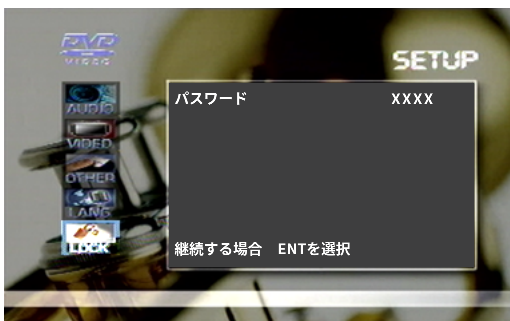
視聴制限（パレンタルロック）のレベルを設定する

視聴制限(パレンタルロック)のレベルを1(子供)から8(大人)までのなかから、以下の手順で選びます。

1. 視聴制限の設定画面を表示させ、カーソル右ボタン（▶）を押して、サブメニューを表示させます。
2. カーソル上下（ ▲ ▼ ）ボタンで視聴制限を選びます。



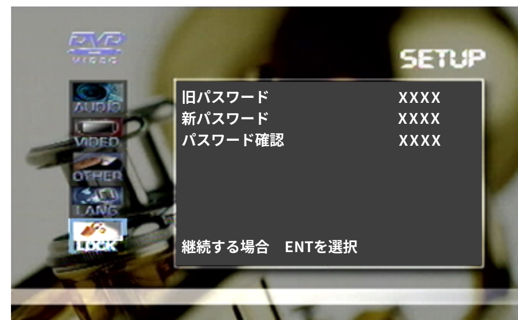
3. カーソル右（▶）ボタンを押して、視聴制限レベルのメニューを表示させます。
4. カーソル上下（ ▲ ▼ ）ボタンでレベルを選びます。
5. エンター（ENT）ボタンを押します。
6. 4ケタのパスワードを数字ボタンで入力する
7. エンター（ENT）ボタンを押すと、視聴制限のレベル設定が完了します。



パスワードを変更する

パスワードは、視聴制限(パレンタルロック)で使用されます。暗証番号は以下の手順で変更します。

1. 視聴制限のサブメニューよりカーソル上下（ ▲ ▼ ）ボタンを押して、パスワードを選びます。
2. カーソル右（▶）ボタンを押して、パスワードの変更を選択します。エンター（ENT）ボタンを押すと、パスワードのメニュー画面が表示されます。



3. 旧パスワードに現在登録されているパスワード（4ケタ）を数字ボタンで入力します。
4. 新パスワードに新しいパスワードを数字ボタンで入力します。
5. パスワード確認に4で入力した新しいパスワードを数字ボタンで再度入力します。
6. エンター（ENT）ボタンを押すと、パスワード変更が完了します。

ご注意

- パスワードは忘れないようメモしておいてください。
- パスワードを忘れてしまったときは、旧パスワードに「8095」を数字ボタンで入力してください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンだけをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

■ 視聴制限できるDVD を再生する

視聴制限されたディスクを再生するとパスワードの入力を求める画面が表示されることがあります。
パスワードを入力しないと再生することができません。以下の手順で操作します。

1. 数字ボタンを使って、4桁のパスワードを入力します。
2. エンター（ENT）ボタンを押すと、DVD の再生が開始します。

その他

使用上の注意

■ 再生中は本機を絶対に動かさない
再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

■ 本機を移動する場合
本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに本体の電源（POWER ON/STANDBY）ボタンを押し、表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

■ 次のような場所は避けてください
- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

■ 上に物をのせない
本機の上に物をのせないでください。

■ 熱を受けないように
本機をAVアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はAVアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、AVアンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

■ ガラスドア付きラックに入れたときのご注意
ラックのガラスドアを閉めたままリモコンのオープン／クローズ（ ⏏ OPEN/CLOSE ）ボタンを押して、ディスクトレイを開けないでください。
ディスクトレイの動きが妨げられ、故障の原因になります。

■ 本機を使わないときは電源を切る
テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

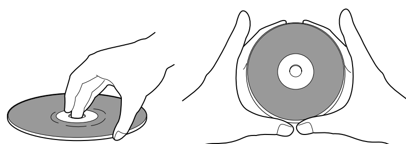
結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1〜2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

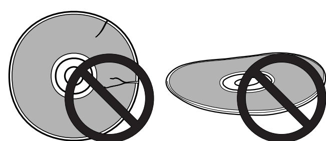
ディスクの取り扱いかた

■ 取り扱いかた

片手で持つ場合　両手で持つ場合



● 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。



● ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。

● ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。



● ディスクを2枚重ねて再生しないでください。

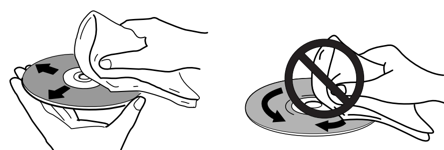
■ 保管

● 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。

● ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ ディスクのお手入れ

● ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質や画質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください（円周に沿って拭かないでください）。

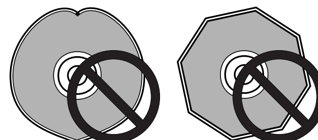


● ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などはご使用できません。

● 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

■ 特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れることがあります。このような場合は『保証とアフターサービス』（P. 43）をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

製品のお手入れについて

● 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5〜6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭きとった後乾いた布で拭いてください。

● アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。

● 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

● お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

困ったとき

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AVアンプまたはスピーカーなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店、お近くの当社営業所またはサービスセンターにお問い合わせください。

症状	原因／対策	ページ
電源が入らない。	電源コードをコンセントに正しく接続してください。	
ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。	・ディスクをディスクトレイに正しくセットしてください。 ・ディスクをクリーニングしてください。 ・DVDビデオディスクのリージョン番号が本機と一致しているか確認してください。	P.18 P.39 P.5, P.6, P.42
画面が映らない。	・接続が正しいか確認してください。 ・テレビ、またはAV アンプなどの設定を、DVD 再生の設定にしてください。	P.13 - P.17
再生できない。	・ディスクをクリーニングしてください。 ・ディスクをディスクトレイに正しくセットしてください。 ・本機の内部の結露を除去してください。	P.39 P.18 P.38
設定内容が消える。	・電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードは必ず本体の電源（POWER ON/STANDBY）ボタンを押して、表示窓の表示が消えてから、抜いてください。	P.38
画面が止まり、操作ボタンを受け付けない。	・停止(■)ボタンを押してから、もう一度再生してください。	P.18
⃠ マークが画面に出る。	・ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。	P.6
リモコンで操作できない。	・本体後面のリモートコントロールスイッチをINTERNAL に設定してください。 ・リモコンの使用範囲で操作してください。 ・リモコンの電池を新しいものと交換してください。 ・リモコンからの送信コードが本体の設定と合っているか確認してください。	P.17 P.7 P.7 P.11
スピーカーから音が出ない、音が歪む。	・音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・[音声]の設定により、音が出ない場合があります。 ・ディスクをクリーニングしてください。 ・一時停止、またはスロー再生になっていたら再生にしてください。 ・テレビ、またはAV アンプなどの音量が最小になっているときはボリュームを上げてください。 ・接続プラグの差し込み方が不十分、または外れていないか確認してください。 ・接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。	P.13 - P.15 P.30 P.39 P.22 P.13 - P.15
96kHz 音声でデジタル出力できない。	・初期設定画面の[音声（AUDIO）] [LPCM出力]の設定が[LPCM 48k] になっていないか確認してください。 ・著作権保護がされているディスクでは96kHz音声のデジタル出力が禁止されています。	P.30 P.30
DTS 音声が出ない。	・DTS 音声対応アンプ、またはデコーダーとデジタル接続しているときは、アンプの設定、およびデジタル音声ケーブルが正しく接続しているか確認してください。	P.14 - P.15

症状	原因／対策	ページ
画面が縦または横に伸びている。	・[映像（VIDEO）］［TV画面］の設定でアスペクト比を合わせてください。 ・ディスクの記録方式の違いによるものです。	P.32, P.34
DVDビデオ や音楽CDで音量差を感じる。	・本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディス	
DVDビデオ再生中に画像が乱れる、または暗い。	クによってはコピー禁止信号が入っているものがあります。そのようなディスクを再生した場合、一部画像に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。 ・本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディス	P.13, P.16
DVD 映像をVTR に録画したり、VTR を通して再生すると再生画面が乱れる。	クによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTR を通して再生したり、VTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。 ・ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作	P.13, P.16
テレビなどが誤動作する。	するものがあります。本機と離してご使用ください。 ・MP3 ファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してく	
MP3ファイルを記録したディスクを再生することができない。	ださい。この場合、以下のような原因が考えられます。 ・MPEG1 オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzの固定ビットレートで記録されているか確認してください。 ・本機では「.mp3」、または「.MP3」以外の拡張子がついているファイルを認識す	P.6, P.21
ディスクに記録されているトラック(MP3ファイル)を選択することができない。	ることはできません。拡張子を「.mp3」、または「.MP3」に変更してください。 ・本機では126 以上のフォルダー、または256 以上のトラックを認識することはできません。	P.6, P.21

● 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、以下のことで正常動作になる場合があります。

1. 本体の電源（POWER ON/STANDBY）ボタンを押してスタンバイにし、再び押してON にする
2. 電源のコンセントを抜いて再び差し込む

これで解決しないときは、お買い上げの販売店、お近くの当社営業所またはサービスセンターにご相談ください。

■ 全ての設定を出荷時に戻す。

本体のスキャン早戻し（◀◀ FR）ボタンと次（▶▶| NEXT）ボタンを同時に押してください。

その他

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは4:3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16:9の比率となっています。

インターレース(飛び越し走査)
映像の1画面を半分ずつ2回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて1画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。本機の取扱説明書では解像度の数字の後ろに「i」を付けて(525iなど)表記してあります。

拡張子
OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

コンポーネント映像出力
輝度信号Yと色差信号CB/CRの3つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

視聴制限(パレンタルロック)
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル(大小)が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル(dB)単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮すると、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

ドルビーデジタル
ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

光デジタル出力
DVDプレーヤーからAVアンプなどに出力する音声信号を、音質劣化の少ないデジタル信号のまま光伝送できるようにしたものが光デジタル出力です。

プレイバックコントロール(PBC)
ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための機能です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ(順次走査)
映像の1画面を2回に分けずに1画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。本機の取扱説明書では、解像度の数字の後ろに「p」を付けて(525pなど)表記してあります。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点(カメラ)を選べれば、見たい視点で映像が見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。

マルチ音声言語
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大8言語(8ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン番号


DVDプレーヤーとDVDビデオディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号(リージョン番号)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン番号は「2」です(本体後面部に表記されています)。

リニアPCM
Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。リニアPCMとは圧縮していないPCM信号のことです。DVDの音声記録方式の1つです。CDの音声と同じ方式ですが、サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。

D 端子
デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号（Y/CB/CR）と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を1 つのコネクタで接続する端子です。

DTS
Digital Theater Systems の略です。DTS はドルビーデジタルと異なるサラウンドフォーマットの1 つです。
DTS ディスクを楽しむには、本機のデジタル出力端子とDTS対応アンプやデコーダーのデジタル入力端子を接続することが必要です。

DVD ビデオフォーマット記録
または マークの付いている市販のDVD ビデオディスクと同じ方式(フォーマット)でDVD-Rディスクに一筆書きのように記録することをいいます。DVD レコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、「V1」とよばれる高画質で録画するモード(録画時間：１時間)と、「V2」とよばれる長時間で録画するモード(録画時間:2 時間)があります。

MP3
MP3 とは、MPEG1 オーディオレイヤー3 というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3 」、または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3 ファイルと呼びます。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVD の映像やビデオCD の映像/ 音声は、この方式で記録されています。DVDの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談
お買い上げの販売店または、取扱説明書の裏面に記載の当社営業所またはサービスセンターに遠慮なくご相談ください。

修理を依頼されるとき
P.40 - P.41 に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、取扱説明書の裏面に記載の当社営業所またはサービスセンターに遠慮なくご相談ください。

連絡していただきたい内容
- ご住所：
- お名前：
- お電話番号：
- 製品名：DVD プレーヤー
- 型番：DV4300
- お買い上げ日：
- 故障または異常の内容
  「できるだけ具体的に」
  「ディスクのタイトル」

保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

その他

仕様

形式 .... DVDビデオ、音楽CD、ビデオCD、スーパービデオCD、DVD-R、MP3ファイル
電源 .... AC 100 V ～ 240V、50/60 Hz
消費電力 14W
本体質量 3kg
外形寸法 .... 440（幅）×54（高さ）×280（奥行）mm
許容動作温度 .... ＋5℃～＋25℃
許容動作湿度 .... 5％～85％（結露のないこと）

S映像出力
Y出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
C出力レベル .... 286 mVp-p（75 Ω）
出力端子 .... S端子

映像出力
出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... RCA端子

コンポーネント映像出力（Y、CB/PB、CR/PR）
輝度（Y）信号出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
色差（CB/PB、CR/PR）信号出力レベル .... 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... RCA端子

D1/D2端子（Y、CB/PB、CR/PR）
輝度（Y）信号出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
色差（CB/PB、CR/PR）信号出力レベル .... 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... D端子

音声出力（2CH）
音声出力レベル .... 200 mVrms（1 kHz、－20 dB）
チャンネル数 2
出力端子 .... RCA端子

音声出力特性
周波数特性 .... 4 Hz～44kHz（DVDビデオ、96 kHz）
S/N比 .... 101 dB
ダイナミックレンジ .... 100 dB
全高調波歪率 0.003%
ワウ・フラッター .... 測定限界以下（±0.001 %W. PEAK）（EIAJ）

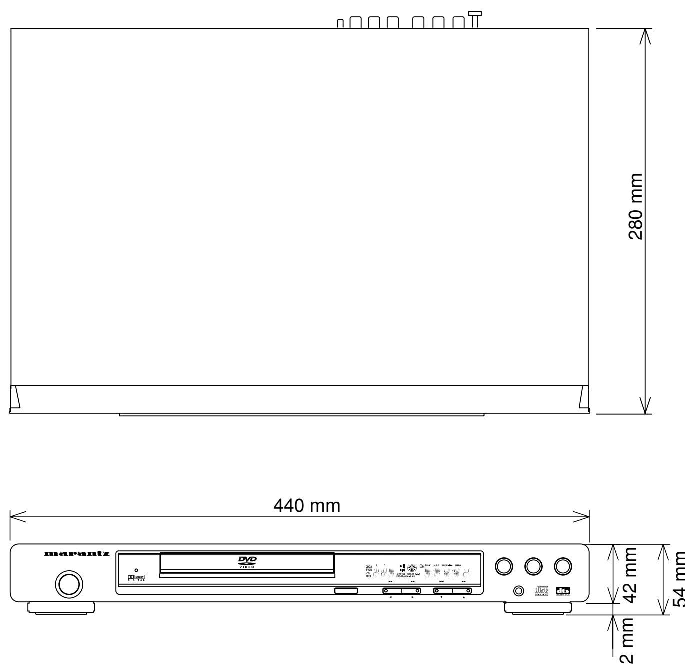
デジタル出力
光デジタル出力 .... 光デジタル端子
同軸デジタル出力 .... RCA端子

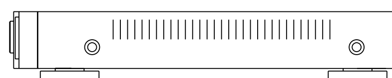
その他の端子
コントロール入力/出力 .... RCA端子

付属品
音声／映像ケーブル 1
リモート接続ケーブル 1
リモートコントロールユニット 1
単4形乾電池（R03） 2
取扱説明書 1
保証書 1

● 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

外観寸法図
（単位 mm）





marantz®

日本マランツお客様ご相談センター

〒150-0022　東京都渋谷区恵比寿南1-11-9

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間
9：30ー12：00　13：00ー17：00
(土　日　祝日、当社休日を除く)

○ 修理に関しましては下記　日本マランツ（株）各サービスセンター、各営業所で承っております。

●	札幌　営業所	〒060-0032	北海道札幌市中央区北二条東7-82	☎ (011) 231-5776
●	仙台　営業所	〒982-0011	宮城県仙台市太白区長町6-8-40	☎ (022) 308-3566
●	東京　営業所	〒150-0022	東京都渋谷区恵比寿南1-11-9	☎ (03) 3793-5721
●	神奈川営業所	〒228-8505	神奈川県相模原市相模大野7-35-1	☎ (042) 748-1245
●	名古屋営業所	〒465-0024	愛知県名古屋市名東区本郷2-75	☎ (052) 776-5073
●	大阪　営業所	〒564-0053	大阪府吹田市江の木町2-31	☎ (06) 6337-6504
●	広島　営業所	〒732-0814	広島県広島市南区段原南2-12-27	☎ (082) 262-1265
●	福岡　営業所	〒812-0014	福岡県福岡市博多区比恵町1-18	☎ (092) 441-9131
●	東京サービスセンター	〒228-8505	神奈川県相模原市相模大野7-35-1	☎ (042) 748-0762
●	大阪サービスセンター	〒564-0053	大阪府吹田市江の木町2-31	☎ (06) 6337-6699

日本マランツ株式会社
本社　〒228-8505　神奈川県相模原市相模大野7-35-1

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。
http://www.marantz.co.jp

Printed in Korea　　2002/09　MITh　　21AW851110